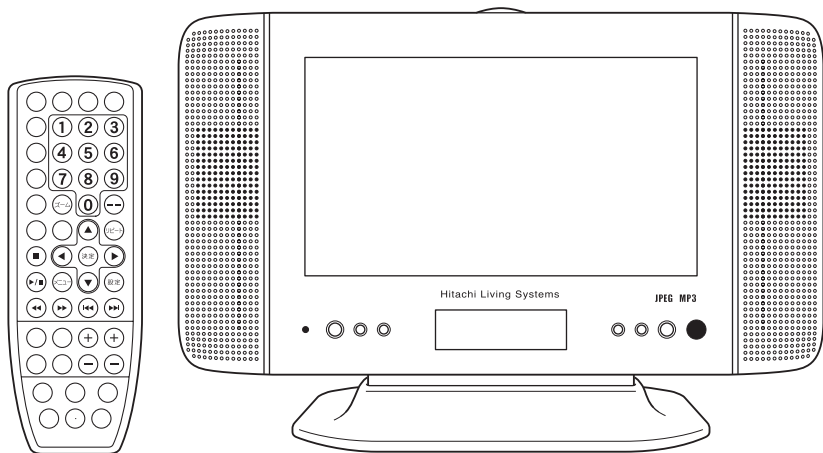
取扱説明書　　日立リビングサプライ

DVD プレーヤー内蔵液晶テレビ

形名

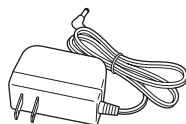
DVL-7TV

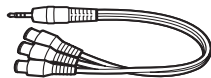
このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに「保証書」とともに大切に保管してください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

もくじ

付属品について

リモコン 1
CR2025 リチウム電池が、リモコンに入っています

アンテナプラグ 1

電源アダプター 1
（約 1.8 m）

FM 室内アンテナ 1
（約 2 m）

専用 AV コード 1
（オーディオ・ビデオ出力ケーブル）
（約 0.2 m）

保証書 1
本書(取扱説明書) 1

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

「安全上のご注意」 のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがありますがご了承ください。

⚠ 警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の電源ボタンで電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。

- **煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）**
  煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- **本機の内部に水などが入った**
- **異物が本機の内部に入った**
- **映像や音が出ないなど（故障状態）**
- **倒したり落としたりして、キャビネットを破損した**

⚠ 警告

■ 電源アダプター接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源アダプターはコンセントへ確実に接続する。
- 電源コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。
- 付属の電源アダプターは本機以外に使用しない。

■ 電源コードを傷つけない

無理な使い方をすると電源コードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。

禁　止

電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店にACアダプターの交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 定期的に点検を

設置時から1年に1度は電源コンセントと電源アダプターの間にホコリが付着していないか、電源コードに傷みがないか、電源アダプターが抜けかけていないかなどを点検してください。

■ 雷が鳴り出したら

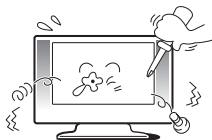
電源アダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

⚠ 警告

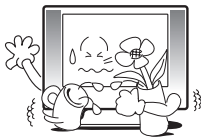
■ 分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■ 本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

禁　止

■ ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨の中などでは使用しないでください。

水ぬれ禁止

■ 日本国以外の使用

本機は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因になります。また、他国には独自の安全規定が定められており、本機は適合していません。
This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any country.

禁　止

■ 異物を入れない

ディスク挿入口などに、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）火災、感電の原因となります。

禁　止

■ 布をかぶせない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。

禁　止

⚠ 注意

■ 電源アダプターを抜くときの注意

ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源アダプターをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプターを抜くときは、アダプター、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 設置場所に注意

禁　止

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しないでください。火災、故障の原因となることがあります。
- 本機は室内専用です。
  屋外、車内では使用しないでください。高温、振動などにより熱変形、火災、故障の原因となることがあります。

■ 本機を不安定な場所に置かない

禁　止

平らで水平な場所に設置してください。壁に掛けたり、不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない

禁　止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本機の上に乗らないでください。

■ 持ち運びの注意

電源アダプターを抜く

ディスクを取り出して電源を切り、外部接続をすべて外してからおこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 変形やひび割れしたディスクは使用しない

禁　止

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
また、セロハンテープやレンタルCD/DVD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■ ヘッドホンの音量に注意

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 音量に注意

禁　止

- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 他機器との接続について

テレビ、ビデオ、オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電、けがの原因となることがあります。

■ 電磁波の発生する機器に近づけない

禁　止

携帯電話、充電器や電磁波の発生する電気製品に近づけない。電磁波のためにノイズの影響が生じることがあり ます。

■ クレジットカードなどをスピーカーに近付けない

禁　止

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

■ 休暇や旅行などで長期間使用しない場合やお手入れの際の注意

電源アダプターを抜く

安全のため電源アダプターをコンセントから抜いてください。
なお、電源アダプターをコンセントから抜いた場合は時計の再設定が必要となります。

■ 内部の掃除について

１年に１度は内部の掃除について、お買い上げの販売店にご依頼ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 電池（リモコン用）使用上の注意

電池の使い方を誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

禁　止

- CR2025リチウム電池以外は使用しない。
- 極性（⊕と⊖）に注意し、表示通りに入れる。
- 電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。
- 休暇や旅行などで長期間使用しないときは、電池を取り出しておく。

もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
外した電池はお子様の手の届くところに置かないでください。お子様が飲み込むおそれがあります。

使用上のお願い

■ 取り扱いについて

- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- 本機の近くでヘアースプレーや加湿器を使用しないでください。レンズがくもったりすることがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
  変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると、本体や電源アダプターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 長時間ご使用にならないときは、ディスクを取り出し、電源ボタンを切って電源アダプターをコンセントから抜いておいてください。

■ 設置場所について

本機を再生中、近くに設置したビデオやオーディオ機器の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はビデオやオーディオ機器から離してください。

■ お手入れについて

キャビネットやディスプレイのよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
  ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

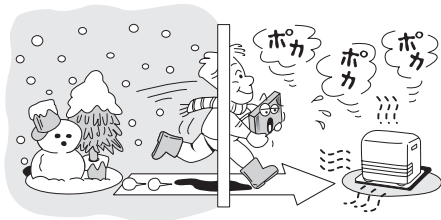
■ 美しい画面を見るための点検のおすすめ

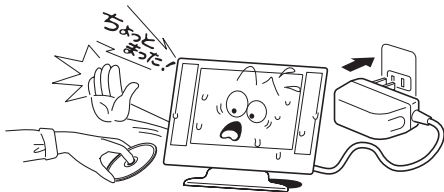
本機は高精度な技術によって構成された精密な機器です。ピックアップレンズやディスクの駆動部分がよごれたり、摩耗したりすると画質が損なわれます。美しい画面でご覧いただくためには、使用環境（温度、湿度、ほこり）などによって異なりますが、およそ1000時間をめどに点検（清掃、一部部品交換）されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 結露（露付き）について

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。この現象と同じように、本機内部のピックアップレンズに水滴がつくことがあります。これを結露（露付き）といいます。

結露はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源アダプターをコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、2〜3時間で水滴がなくなります。

使用上のお願い

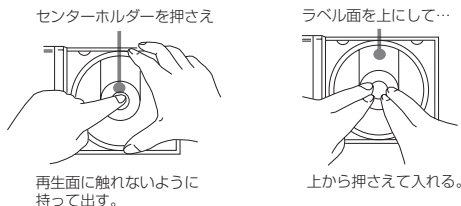
ディスクの取扱いと保管

ケースからの出し入れは

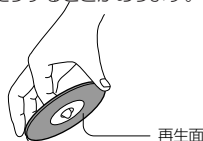
センターホルダーを押さえ

再生面に触れないように
持って出す。

ラベル面を上にして…

上から押さえて入れる。

ディスクの取扱いかた

- 再生面には手を触れないでください。ディスクに汚れや傷がついていると、画質や音質が低下したり、再生できなくなったりすることがあります。

再生面

ディスクの保管のしかた

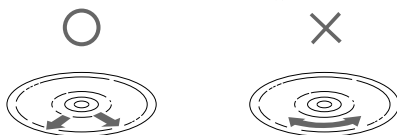
- 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

本機を持ち運びするときは

- ディスクを必ず取り出してください。
  入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像のみだれや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

○

必ず内側から外側へ

×

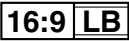
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクについてのご注意

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。
  また、セロハンテープやレンタルCD/DVDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるディスクは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクが正しい位置に置かれていないと、ディスクに傷をつけたり故障の原因になることがあります。
- こんなときに画像や音が途切れることがありますので、ご注意ください。
- ◆ 本機に強い衝撃を与えたとき。
- ◆ 薄い板の上など、振動しやすい場所に置いたとき。
- ◆ ディスクの内容によって音とびを起こすことがあります。その場合は音量を下げてお聞きください。
- ディスクに傷、指紋、ほこりなどがついていると再生できないことがあります。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- コピーガード付きCD再生について
  CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクについては、当社としては、CD再生機器における再生の保証は致しかねます。CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージの注意文をよくお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。なお、CD規格に準拠しないディスク再生時にのみ支障がある場合、詳細についてはディスクの発売元にお問い合わせください。
- デュアル（CDとDVDの両面）ディスクは正常に再生できません。

再生できるディスク

本機では下記のディスクを再生することができます。

ディスク	マーク（ロゴ）	記録内容	ディスクの大きさ	最長再生時間
DVDビデオ	DVD VIDEO	音声＋映像	12cm	片面ディスク 約4時間
				両面ディスク 約8時間
			8cm	片面ディスク 約80分
				両面ディスク 約160分
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm	74分
			8cm	20分
CD-R/CD-RW	COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable	MP3 JPEG	12cm 8cm	書き込み内容に準じます
DVD-R※	DVD R	ビデオモード	12cm 8cm	書き込み内容に準じます

※ **DVD-Rでは、DVDレコーダーなどによってビデオモードで記録され、かつファイナライズ処理されたものに限り再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないディスクがあります。**

ビデオCDやDVD-RAM、DVD-ROM、DVDオーディオ、DVD-RW、VRモードで記録されたDVD-Rなど、上記以外のディスクは再生できません。

ディスクやパッケージのマークについて

DVDのディスクやパッケージには下表のようなマークが表示されています。それぞれのマークはディスクに記録されている映像･音声の数や、使える機能を表しています。
（DVDによっては機能が使えても、それらのマークが表示されていないものもあります。）

マーク	意味
3	音声が記録されている数を表します。例えば数字が「3」の場合、3種類の音声（英語/スペイン語/日本語など）が記録されています。
2	字幕の数を表します。例えば数字が「2」の場合、2種類の字幕（英語/日本語など）が記録されています。
3	アングル数を表します。DVDでは、角度（アングル）の異なる複数のカメラで撮影したシーンを、好みのアングルを選んで再生できるディスクがあります。
16:9 LB ビスタサイズ シネマスコープサイズ	選択可能な画像アスペクト比を表します。DVDディスクには、映すテレビがワイドテレビか普通のテレビかによって、画像を切り換えられるものがあります。
2	再生可能なリージョンコードを表します。（次ページを参照ください。）

ちょっとこれを！

- 本機はNTSCテレビ（日本のテレビ）方式以外のディスクでは正しく表示しません。
- CD-RまたはCD-RWでは音楽CDフォーマット、MP3形式の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたものに限り再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないディスクがあります。
- BS、地上波デジタル放送などの「一回だけ録画可能」番組を記録したディスクは再生できません。
- 自宅のパソコンで作成されたディスクは、記録状態により再生できない場合があります。

お使いになる前に

認定されていないディスクについて

正式な販売地域以外のDVDディスクや業務用ディスクなどの中には、本機での再生が禁止されているものがあります。
正式な販売地域以外のDVDディスクを再生しようとすると、「地域コードが間違っています」というメッセージが画面に表示されます。

DVD 再生時の機能や操作について

DVDディスクによっては、制作者の意図により再生状態が決められています。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生するため、本機で設定した機能が働かない場合や、本機の操作が制約される場合があります。
DVDディスクの機能や操作について、詳しくはディスクに付属の取扱説明書をお読みください。

本機のリージョンコードは「2」です。
リージョンコードが「2」を含む、または「ALL」のDVDディスクは本機で再生することができます。

タイトル、チャプター、トラックについて

DVDは、**タイトル**という大きい区切りと、**チャプター**という小さい区切りに分かれています。
音楽用CDは、**トラック**で区切られています。
例：DVD

例：音楽用CD

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順に番号がふられています。これらの番号を**タイトル番号**、**チャプター番号**、**トラック番号**といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

MP3 について

MP3とは、MPEGオーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データです。MP3ファイルは「.mp3」という拡張子が付いた音楽データファイルのことを言います。

お使いになる前に

JPEGについて

JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルの保存形式(フォーマット)の一種です。JPEGファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを言います。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

● 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC) におたずねください。
JASRAC 本部TEL 03-3481-2121
URL http://www.jasrac.or.jp/

本機は、アメリカ合衆国特許権と知的所有権上保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許可が必要です。許可がない場合は家庭用及びその他の一部の観賞用に制限されます。分解したり、改造することも禁止されています。

再生中、再生後の音量にご注意ください

DVDや音楽CDに記録されている音声のレベルはディスク によって異なります。DVDの場合は音声出力モード(5.1chか2chかなど)によっても音声レベルが変わることがあります。音声レベルが低いディスクを再生したときは、音量を上げないと通常のように聞こえない場合がありますが本機の故障ではありません。また、音量を上げてDVDや音楽CDを再生した後に、音量を上げたまま別のDVDや音楽CDを再生すると、大きな音が出ることがありますのでご注意ください。このようなことを防ぐため、ディスクを再生するとき、事前に音量を下げるよう心がけてください。

この取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。
DVDの特長として、ディスクによっては、いろいろな機能や操作ができるものがあります。そのため、取扱説明書の内容と操作手順が一部異なったり、違う操作手順が画面に表示されることがあります。このような場合は、画面に表示される操作手順にしたがって操作してください。
操作中に「 ⊘ 」と画面表示されることがあります。これは、本書で説明されている操作方法であっても操作ができないことを表しています。

■本文中のマークの見かた

DVD/**CD**/**DATA**について
本書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表しています。
DVD:DVDでお楽しみいただけます。
CD:音楽用CDでお楽しみいただけます。
DATA:MP3、JPEG形式のデータCDでお楽しみいただけます。
また、本文中のタイトルに<<DVD>>、<<CD>>とある場合は、そのディスクについてのみ使用できる機能を説明しています。

ちょっとこれを!

● 本機を上手に使うための情報です。

ご注意

● 本機を使う上で気をつけていただきたい情報です。

各部のなまえ

本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

本体の同様の名前のボタンでも操作のしかたは同じです。

●表示例として使用しております表示画面については、実際の画面と異なる場合があります。

本体操作部

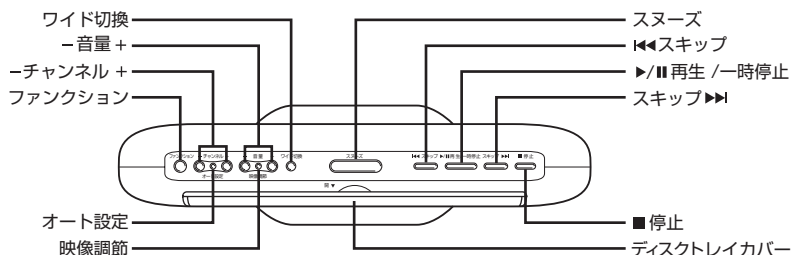
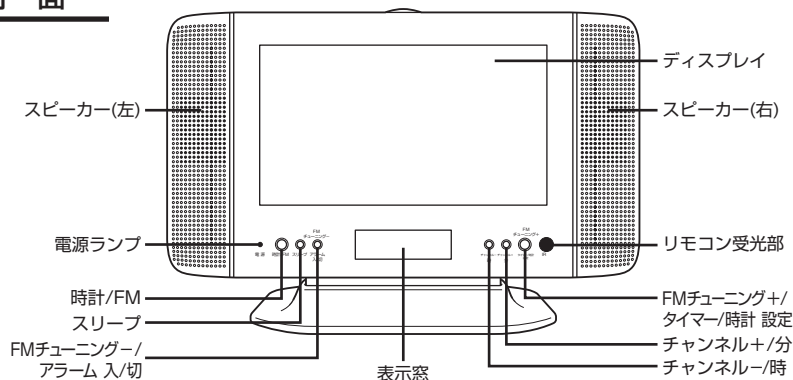
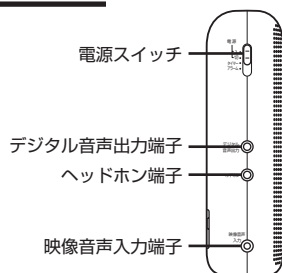
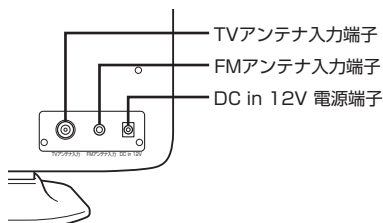
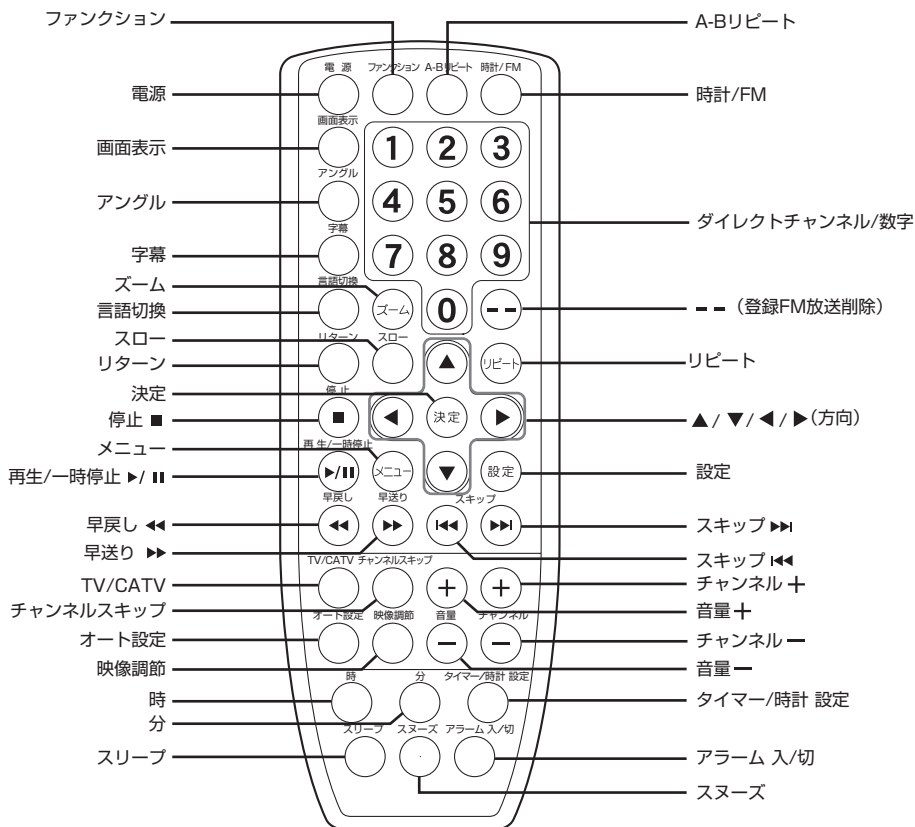
前　面

左側面端子部

背面端子部

各部のなまえ

ファンクション
電源
画面表示
アングル
字幕
ズーム
言語切換
スロー
リターン
決定
停止 ■
メニュー
再生/一時停止 ▶/ ❚❚
早戻し ◀◀
早送り ▶▶
TV/CATV
チャンネルスキップ
オート設定
映像調節
時
分
スリープ

A-Bリピート
時計/FM
ダイレクトチャンネル/数字
– –（登録FM放送削除）
リピート
▲/▼/◀/▶（方向）
設定
スキップ ▶▶❘
スキップ ❘◀◀
チャンネル＋
音量＋
チャンネル－
音量－
タイマー/時計 設定
アラーム 入/切
スヌーズ

ちょっとこれを！

● **リモコンの時・分ボタンについて**
時･分ボタンはチャンネル＋／－ボタンも兼用しています。
時･分ボタンを押すと、本体およびリモコンのチャンネル＋／－ボタンを押した場合と同じ動作をします。

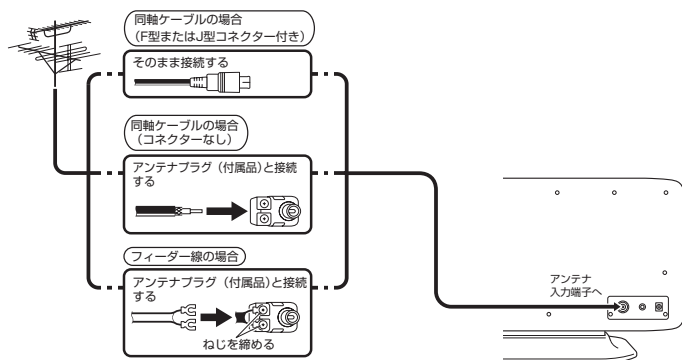
● **リモコンのタイマー／時計設定・アラーム入／切ボタンについて**
タイマー／時計設定･アラーム入／切ボタンはFMチューニング＋／－ボタンも兼用しています。
タイマー／時計設定･アラーム入／切ボタンを押すと、本体のFMチューニング＋／－ボタンを押した場合と同じ動作をします。

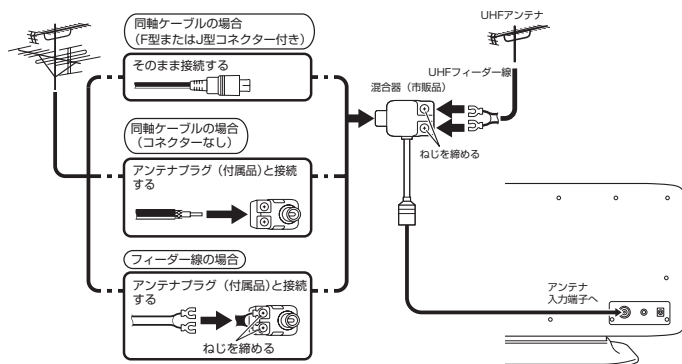
アンテナを接続する

⚠ 注意：アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

アンテナ線が1本の場合と、2本の場合で接続が異なります。

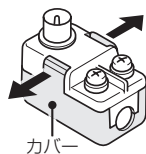
アンテナ線が1本（VHF・UHF混合アンテナまたは、VHF(UHF)アンテナのみ）の場合

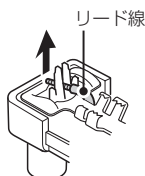
アンテナ線の種類によっては、アンテナプラグ（付属品）との接続が必要です。
アンテナ線の種類を確認してください。

アンテナ線が2本（VHFアンテナと、UHFアンテナが別々）の場合

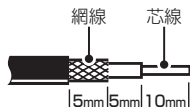
VHF アンテナ線と UHF アンテナ線を混合器（市販品）で 1 本にします。
VHF アンテナ線の種類によっては、アンテナプラグ（付属品）との接続が必要です。
アンテナ線の種類を確認してください。

アンテナを接続する

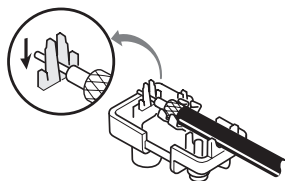
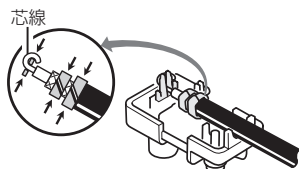
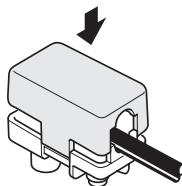
アンテナプラグと同軸ケーブルのつなぎかた

同軸ケーブルにコネクターがない場合は、次のようにアンテナプラグ（付属品）につなぎます。

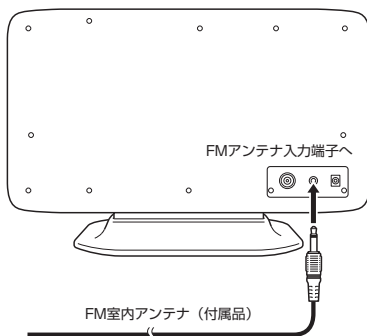
1 カバーをはずす

- 矢印の方向に広げるとはずれる

2 リード線をはずし、切り取る

- 他に接触しないように注意する

3 同軸ケーブルの先端を加工する

- カッターを使って同軸ケーブルの被覆をはがす

4 同軸ケーブルを取り付ける

5 芯線を曲げ、ペンチなどで3か所の金具を締めつける

6 カバーを取り付ける

アンテナを接続する

FM アンテナを接続する

本機でFMラジオを聞くときは、付属のFM室内アンテナを接続します。

ちょっとこれを!

● FM 室内アンテナは、雑音が少なく最も受信状態の良い位置に固定してください。

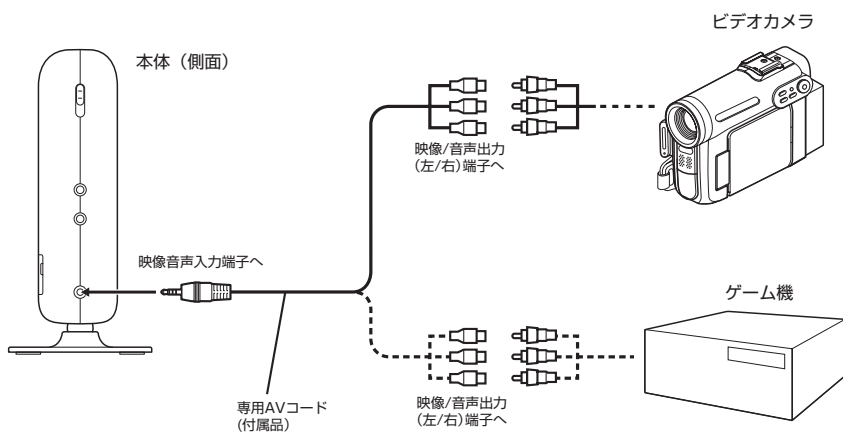
他の機器と接続する

接続する前に

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続の際は、必ず本機及び接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 接続するプラグは、各機器にしっかり差し込んでください。差し込みが不完全ですと、雑音が発生するおそれがあります。

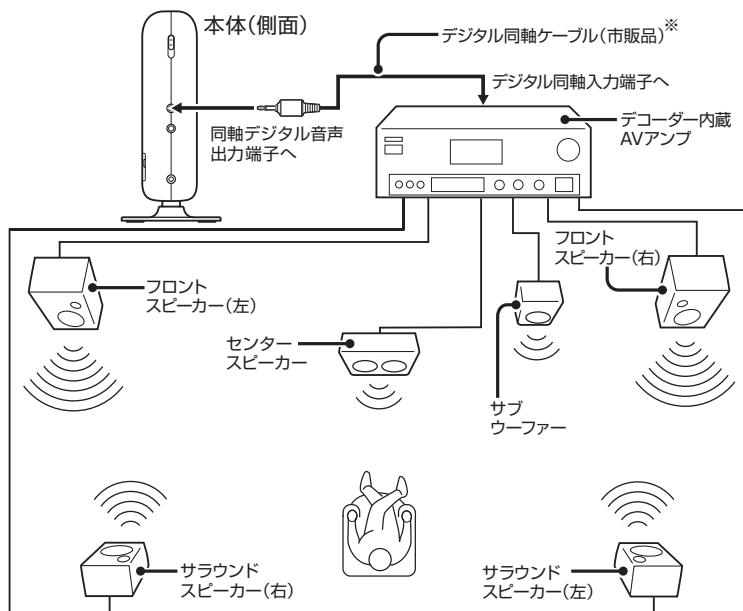
ゲーム機やビデオカメラとの接続

ゲーム機や、ビデオカメラなどと接続して、本機をモニターとして使用することができます。

- ファンクションボタンを押して、AVモードにします。画面に“AV”が表示されます。P27

他の機器と接続する

デジタルサラウンドデコーダー内蔵の AV アンプの接続

お手持ちのデジタルサラウンド内蔵のAVアンプと接続すると、映画館のようにドルビーデジタルサラウンドオーディオを含むさまざまな音楽システムを楽しむことができます。
次のものに接続する時に下図のように接続します。（これは、接続の一例です。詳細はアンプの説明書をご覧ください。）

●ドルビーデジタルデコーダー内蔵のAVアンプ

※デジタル同軸ケーブルについて

●**デジタル同軸ケーブルで接続するとより忠実な音声効果が得られます。**

●デジタル同軸ケーブルをお買い求めの際は、ケーブル先端の形状がミニプラグとピンプラグのものをお求めください。
　φ3.5 ミニプラグ（モノラル）：本機接続側　　　ピンプラグ：AV機器
　ただし、AV機器側はピンプラグで接続できない場合がありますので、必ずお客様お持ちのAV機器の形状をお確かめ頂き、販売店とご相談の上、お買い求めください。

● ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

接続と準備

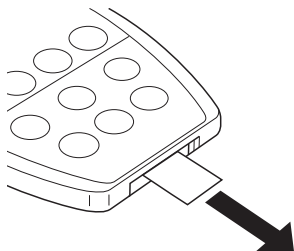
ご注意

● DTS には対応していません（映像は表示されても、音声やデジタルアウト信号は出力されません）。

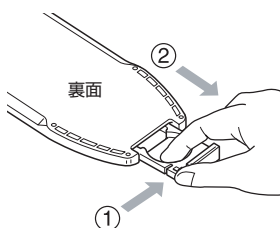
リモコンの使いかた

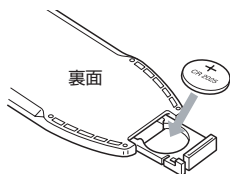
電池の入れかた

初めてリモコンを使う場合

CR2025リチウム電池(付属品)が、あらかじめリモコンの中に入っています。
図のようにプラスチックシートを引き抜いて使用してください。

- リモコンの電池が消耗すると、リモコンを本体の近くで操作しても動作しなくなりますので、新しい電池に交換してください。
- 付属の電池はモニター用です。寿命が短いことがありますが、ご了承ください。

1 電池を取り換える場合

①を押えながら、②の方向に引き出す
(取り出す際、少し力を入れてください。)

2 古い電池を取り出し、+側を上にして新しい電池を入れる

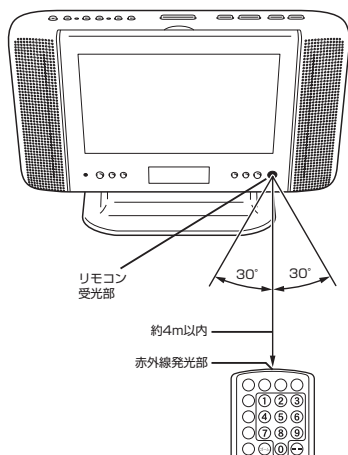
- 電池はCR2025 リチウム電池を使用してください。

3 電池ホルダーを閉じる

- 不要となった電池を廃棄する場合は各自治体の指示(条例)に従って処理してください。

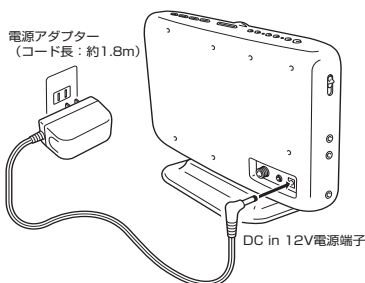
ご注意

- リモコンを長期間(1ヶ月程度)使用しない場合は、電池を取り外してください。リモコン内の電池が液漏れを起こす場合があります。
- 外した電池はお子様の手の届くところに置かないでください。お子様が飲み込むおそれがあります。

リモコンの使える範囲

水平方向で左右30度ずつ、直線距離で約4mまでの範囲です。

- リモコン受光部とリモコンとの間に障害物があると、操作できないことがあります。
- リモコンの電池が消耗すると、リモコンを操作しても動作しなくなりますので、新しい電池に交換してください。
- 直射日光下やインバーター蛍光灯の近くでは、強い光が当たると正常に動作しないことがあります。

電源の入れかたと本体の角度調整

電源アダプターを接続する

● 電源アダプターを抜き差しするときは、電源スイッチを「切」に合わせて電源を切ってからおこなってください。先に電源を切らないと、ディスクに傷がついたり故障の原因となります。

ご注意

- 付属の電源アダプター以外は使用しないでください。
- 電源アダプターを接続すると、本体前面の表示窓の時計の表示が開始します。
- 時計の合わせかたについては、23ページを参照してください。

電源を入／切する

1 本体の電源スイッチを「入」に合わせる

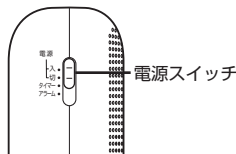
本体の電源が入ります。

- 本体前面の表示窓のバックライトが点灯し、電源ランプが点灯します。

2 電源を切るときは本体の電源スイッチを「切」に合わせる

- 本体前面の表示窓のバックライトが消灯し、電源ランプも消灯します。
- 表示窓には、本体の電源の状態にかかわらず、電源アダプターを接続している間は時計の表示がおこなわれます。

電源スイッチの位置について

電源スイッチの位置によって、使用できる機能が次のように異なります。

<table>
<tr><th rowspan="2">使用できる機能</th><th colspan="4">電源スイッチの位置</th></tr>
<tr><th>入</th><th>切</th><th>タイマー</th><th>アラーム</th></tr>
<tr><td>テレビ</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">×</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">×</td></tr>
<tr><td>外部入力の映像表示</td></tr>
<tr><td>DVD/CD</td></tr>
<tr><td>FM ラジオ</td></tr>
<tr><td>アラーム</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>タイマー</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>スリープ</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>時刻合わせ</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

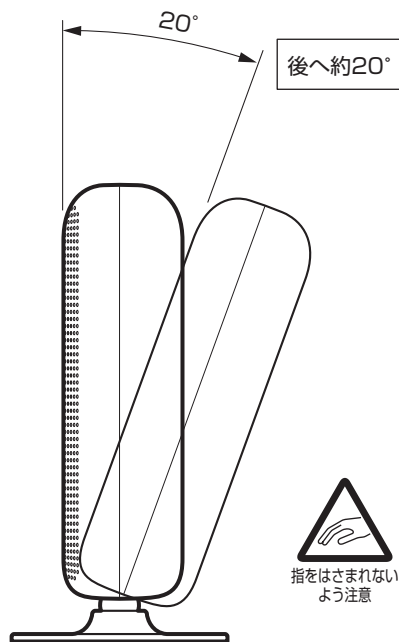
○…その機能が使用できます
×…その機能が使用できません

リモコンの電源ボタンを使う

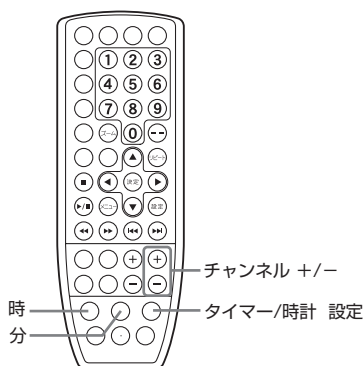
本体の電源スイッチを「入」に合わせて電源を入れているときにリモコンの電源ボタンを押すと、本体の電源の入／切が切り換わります。この場合、ディスプレイと電源ランプが消灯しますが、表示窓のバックライトは点灯します。（FM放送の受信時は、表示窓の周波数表示が時計表示に変わります。）

電源の入れかたと本体の角度調整

本体スタンドの角度調整

本体スタンドは、角度を変えられるようになっています。調節部分は、本体を保持するために固くなっています。角度を調整するときは、本体下部をしっかり押さえて本体スタンドを傾けてください。

ご注意

- 本体スタンドの角度を調整するときは、指をはさまないようにご注意ください。
- 調整可能な角度を超えて、本体スタンドに力を加えないでください。破損の原因となります。
- 角度調整の際に、液晶画面に強い力が加わらないようにご注意ください。

時計を合わせる

電源アダプターを接続すると、本体前面の表示窓の時計の表示が開始します。時計の表示時刻は、次の操作で合わせます。

1 **本体の電源スイッチを「タイマー」または「アラーム」に合わせる**

本体の電源が入り、時刻の設定ができるようになります。

2 **タイマー／時計 設定ボタンを2度押す**

表示窓の時計表示の「：」が約5秒間点滅します。

3 **5秒以内に時／分ボタン（またはチャンネル＋／－ボタン）を押して時刻を合わせる**

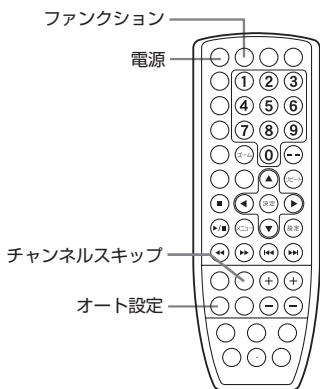
時（またはチャンネル－）ボタンを押すと、表示窓の「時」の数値が1時間単位で上がります。分（またはチャンネル＋）ボタンを押すと、表示窓の「分」の数値が1分単位で上がります。時刻合わせが終わると時刻のカウントを始めます。

時刻合わせが終わると、自動的に時計表示の「：」が点滅から点灯に変わります。また、タイマー／時計設定ボタンを押しても点滅から点灯に変わります。

ご注意

- 現在時刻の設定後、停電や電源アダプターを抜いたとき（約1時間以上）には現在時刻がリセットされます。また、現在時刻は誤差が生じます。このようなときは、再び時刻を合わせてください。

テレビのチャンネルを設定する

ご使用になる地域での、放送局を自動的に記憶させることができます。

準備　● アンテナを正しく接続してください。接続のしかたと調整方法は、15ページを参照してください。

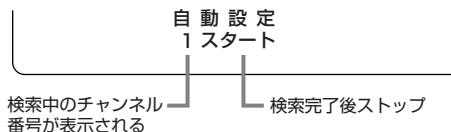
チャンネル設定

1 **本体の電源スイッチを「入」に合わせる**
本体の電源が入ります。ただし、本体の電源ランプが消えている場合は、リモコンの電源ボタンを押してください。

2 **ファンクションボタンを押して、TVモードを選ぶ**
押すたびに、設定が切り換わります。
ディスプレイに以下のように表示されます。

※1 TV(CATV) → AV → DVD → ※2 (FM)

※1 現在、選択されているチャンネル番号が表示されます。
※2 ファンクションがFMに切り換わると、ディスプレイが消えて何も表示されません。

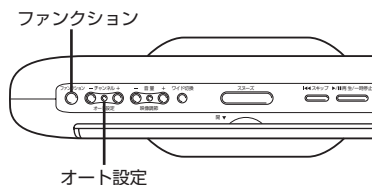
3 **オート設定ボタンを押して、放送局を記憶させる**
受信した放送局を次々に自動で記憶していきます。記憶動作が終わると、一番小さい数字のチャンネルを画面表示します。

ご注意

- 受信状態が良くないときは、放送局を記憶できないことがあります。

本体ボタンで設定をおこなう場合

1 **本体の電源スイッチを「入」に合わせる**
本体の電源が入ります。ただし、本体の電源ランプが消えている場合は、リモコンの電源ボタンを押してください。

2 **ファンクションボタンを押して、TVモードを選ぶ**

3 **オート設定ボタンを押して、放送局を記憶させる**

ちょっとこれを！

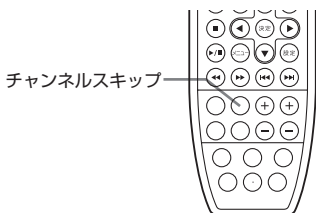
- テレビ放送局の自動受信設定は電波の状態によっては雑音の多い局も記憶することがあります。その場合には25ページに従いチャンネルをスキップしていただくことをおすすめします。

テレビのチャンネルを設定する

チャンネルをスキップする

自動的に検出されたチャンネルのうち、不要なチャンネルがスキップされるように設定できます。

1 数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ

例：
6チャンネル：⓪　→　⑥
38チャンネル：③　→　⑧

2 チャンネルスキップボタンを押す

表示中のチャンネルがスキップされるように設定されます。ディスプレイには「スキップ設定　する」と表示されます。

スキップ設定 する

以降、別のチャンネルに切り換えると、チャンネル＋／－ボタンではこのチャンネルが選局できません。

スキップされるチャンネルを元に戻すには

1 数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ

例：
6チャンネル：⓪　→　⑥
38チャンネル：③　→　⑧

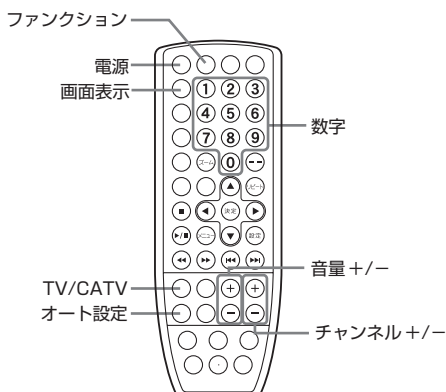
2 チャンネルスキップボタンを押す

表示中のチャンネルがスキップされる設定が解除されます。ディスプレイには「スキップ設定　しない」と表示されます。

スキップ設定 しない

ちょっとこれを！

- チャンネル＋／－ボタンでは、設定されたチャンネルを順に選局できます。
- 1桁のチャンネルを入力する場合に、そのチャンネルと同じ数字ボタンだけを押すと、約3秒後にそのチャンネルに切り換わります。（たとえば、6チャンネルを選ぶときに、⓪ → ⑥ の順に数字ボタンを押した場合はすぐにチャンネルが切り換わり、⑥ だけを押した場合は約 3 秒後にチャンネルが切り換わります。）
- 操作の際に出る画面表示は、約 5 秒で消えます。

テレビを見る

準備　● アンテナを正しく接続してください。
● 24ページの手順でチャンネルを設定してください。

基本の操作

1 本体の電源スイッチを「入」に合わせる

本体の電源が入ります。ただし、本体の電源ランプが消えている場合は、リモコンの電源ボタンを押してください。

2 ファンクションボタンを押して、TVモードを選ぶ

押すたびに、設定が切り換わります。
ディスプレイに以下のように表示されます。

※1 TV(CATV) → AV → DVD → ※2 (FM)

※1 現在、選択されているチャンネル番号が表示されます。
※2 ファンクションがFMに切り換わると、ディスプレイが消えて何も表示されません。

3 数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ

例：
6チャンネル：⓪ → ⑥
38チャンネル：③ → ⑧

ちょっとこれを！

- チャンネル＋／－ボタンでは、設定されたチャンネルを順に選局できます。
- 1桁のチャンネルを入力する場合に、そのチャンネルと同じ数字ボタンだけを押すと、約3秒後にそのチャンネルに切り換わります。（たとえば、6チャンネルを選ぶときに、⓪ → ⑥ の順に数字ボタンを押した場合はすぐにチャンネルが切り換わり、⑥ だけを押した場合は約 3 秒後にチャンネルが切り換わります。）
- 操作の際に出る画面表示は、約 5 秒で消えます。画面表示ボタンを押すと、チャンネル番号が常に表示されるようになります（もう一度画面表示ボタンを押すと非表示になります）。

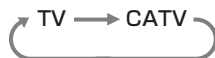
4 音量を調節する

音量＋/－ボタンを押して調節します。

CATV（有線テレビ放送）を見るには

本機は、CATVチャンネル中のC13～C63チャンネルの受信ができます。
CATV放送を受信するには、CATV会社との受信契約が必要です。詳しくはCATV会社にご相談ください。

TV/CATVボタンを押す

押すたびに、設定が切り換わります。
ディスプレイに以下のように表示されます。

TV 5

ちょっとこれを！

- CATV の受信契約をしていない場合、オート設定 P24 をおこないますと、テレビチャンネル（1～12ch）と同じチャンネルのみが設定されます。
- テレビのCATVモードでは、UHFの受信はできません。

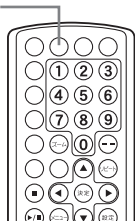
外部入力（ビデオなど）の映像を見る

1 接続されている外部機器の電源を入れる

2 本体の電源スイッチを「入」に合わせる

本体の電源が入ります。ただし、本体の電源ランプが消えている場合は、リモコンの電源ボタンを押してください。

3 ファンクションボタンを押して、AVモードを選ぶ

押すたびに、設定が切り換わります。
ディスプレイに以下のように表示されます。

※1 現在、選択されているチャンネル番号が表示されます。
※2 ファンクションがFMに切り換わると、ディスプレイが消えて何も表示されません。

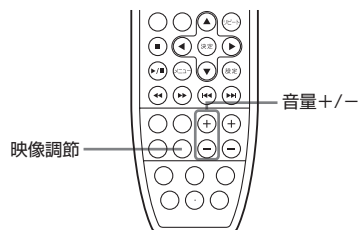
AVモードを選ぶと本体側面の映像音声入力端子につないだ機器がご覧になれます。

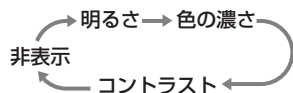
ご注意

- 外部機器との接続については、18～19ページをご覧ください。

映像とディスプレイ表示サイズを調節する

映像を調節する

お部屋の明るさやご覧になる映像に合わせて、画面を調節することができます。

1 映像調節ボタンを押して、設定項目を選択する

ボタンを押すたびに、表示が以下のように切り換わります。

2 音量＋/－ボタンを押して、画面を調節する

画面調節のめやすは、以下の表を参考にしてください。

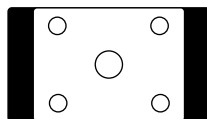
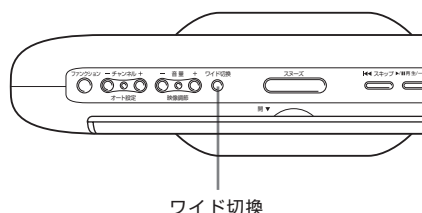
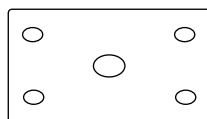
	－ボタン	＋ボタン
明るさ	暗	明
色の濃さ	淡	濃
コントラスト	淡	濃

- 操作の際に出る画面表示は、約５秒で自動的に消えます。

ディスプレイ表示サイズを切り換える

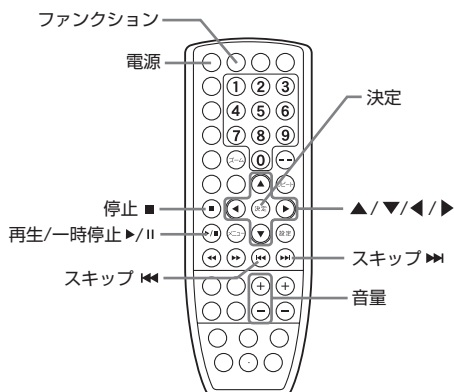
ディスプレイに表示される画面のサイズを切り換えることができます。

本体のワイド切換ボタンを押す

ボタンを押すたびに、画面の横幅サイズが切り換わります。

ちょっとこれを！

- ＤＶＤの映像の画面モードを切り換える場合は、５２ページをご覧ください。

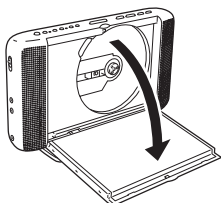
ディスクを再生する　DVD/CD/DATA

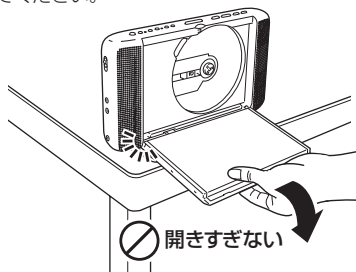
本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

1 本体の電源スイッチを「入」に合わせる

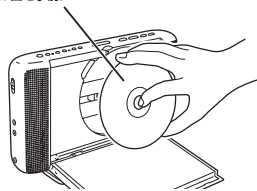
本機の電源が入ります。ただし、本体の電源ランプが消えている場合は、リモコンの電源ボタンを押してください。

2 ファンクションボタンを押して、DVDモードにする

ディスプレイに「ディスクを入れて下さい」と表示されます。

3 ディスクトレイカバーを手前に開く

ちょっとこれを!

- ディスクトレイカバーを開きすぎたり、開いたディスクトレイカバーを上から強く押すと、開口部が壊れる恐れがありますので、注意してください。また、ディスクトレイカバーの破損を防ぐため、本体を机の端に置いてディスクトレイカバーを開きすぎないようにしてください。

4 ディスクをディスクトレイに入れ、ディスクトレイカバーを閉める

ラベル面を手前に

ディスプレイに「ロード中」と表示され、自動的に再生が始まります。

操作中に「 ⊘ 」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

再生

ディスクを再生する　DVD/CD/DATA

ちょっとこれを!

- ディスクの再生面を逆にして挿入した場合や、再生できないディスクを入れた場合は、ディスプレイに「ディスクを入れてください」と表示されます。再度、ディスクをチェックしてください。
- ディスクによっては、再生を始めるまでに1分程度かかる場合があります。
- ディスクによっては、自動で再生されないものもあります。

5 音量を調節する

音量＋/－ボタンを押して調節します。

停止しているディスクを再生するときは

再生/一時停止 ▶/ ❚❚ ボタンを押す

再生が始まります。

データCD(MP3 は39ページ、JPEGは41ページ)の再生のしかたについては、各説明ページも合わせてご覧ください。

ディスクのメニューが表示されたとき

DVDによってはメニューが表示される場合があります。そのときは、▲/▼/◀/▶ ボタンと決定ボタンで項目を選びます。詳しくは、32ページをご覧ください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。音量は時間と場所に応じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

再生を途中で止める

停止 ■ ボタンを押す

停止した位置から再生するとき(リジューム機能)

再生中に停止 ■ ボタンを1回押すと、「再生を押して継続」とディスプレイに表示されます。

再生/一時停止 ▶/❚❚ ボタンを押すと、停止したところから再生が始まります。

完全に停止させるとき(リジューム機能の解除)

停止 ■ ボタンを2度押すか、ディスクを取り出すと、この機能は解除されます。

次に再生するときはディスクの最初から始まります。

メモリー機能をオンにして使用する

システム設定 P54 でメモリー機能を「オン」にすることで、再生途中でディスクを取り出しても、後で同じディスクを入れたときに続きから再生できます。このメモリー機能は違うディスクを入れるか電源を切るかファンクションを切り換えるまで有効です。

ちょっとこれを!

- 「再生を押して継続」と表示されないときは、リジューム再生できません。
- ディスクによってはリジューム再生できない場合があります。
- リジューム再生は、停止した場所によっては、停止位置からずれて始まる場合があります。
- 本体の電源を切ったときは、リジューム再生の記録が消えます。
- MP3、JPEGファイル再生には、リジューム機能はありません。

ディスクを再生する DVD/CD/DATA

ディスクを取り出す

1 停止 ■ ボタンを2度押す

2 ディスクトレイカバーを手前に開く

3 ディスクを取り出し、ディスクトレイカバーを閉める

ちょっとこれを！

- ディスクの再生を停止させた直後にディスクトレイカバーを開くと、ディスクが回転しています。ディスクの回転が止まるまで待ってからディスクを取り出してください。
- ディスクを長時間ディスクトレイに入れたままにしていた場合、ディスクトレイカバーの裏面やディスクが熱を帯びていることがありますが故障ではありません。

再生したい項目にスキップする

次のチャプター/トラックへ進む

再生中に、スキップ ►►I ボタンを押す

ディスプレイに「►►I」が表示され、次のチャプターまたはトラックの頭から再生します。

前のチャプター/トラックへ戻る

再生中に、スキップ I◄◄ ボタンを押す

ディスプレイに「I◄◄」が表示され、再生中のチャプターまたはトラックの頭から再生します。続けてもう一度押すと、1つ前のチャプターまたはトラックの頭から再生します。

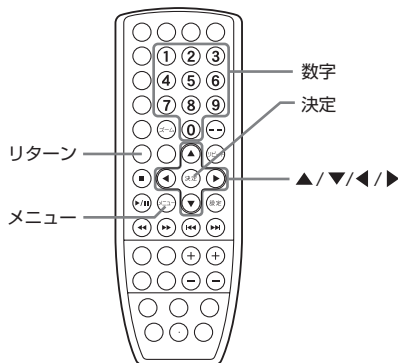
ちょっとこれを！

- ディスクによってはスキップができない場合があります。
- チャプターとトラックについては11ページを参照してください。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

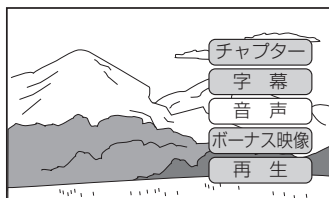
再生

メニューを使う DVD

DVDには、ディスク内にメニューが記録されているものがあります。このようなディスクを再生するときは希望の項目をメニューで選ぶことができます。

DVD メニューで選ぶ

1 再生中にメニューボタンを押す

ディスプレイに「ルートメニュー」と表示され、DVDメニューが表示されます。記録されている映像を選んだり、字幕や音声の言語を選べます。（メニューによっては選べない場合があります。）

（表示例）

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して希望の項目を選ぶ

ディスクによっては、数字ボタンで選べるものもあります。

3 決定ボタンを押す

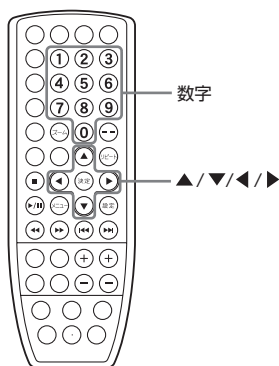
選んだ項目が実行されたり、次のメニューに移ったりします。手順2〜3を繰り返して希望のメニューを操作します。

ディスクによってはDVDメニューが複数階層用意されているものがあります。そのようなディスクの場合は、さらにメニューボタンを押すと「タイトルメニュー」が表示され、上の層のDVDメニューを表示することができます。

ちょっとこれを！

- 複数の言語でDVDメニューが記録されている場合は、システム設定の「その他設定ページ」で言語を選ぶことができます。 P56
- DVDメニューが記録されていないディスクもあります。
- DVDメニューを操作してから実際に動作するまで、数秒かかる場合があります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」のことを別の呼びかたで表示しているものもあります。また「決定ボタンを押す」といった案内の表示を「選択ボタンを押す」などと表示しているものがあります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」を選ぶことができない場合があります。
- ディスクによっては「ルートメニュー」と「タイトルメニュー」が同じ内容で表示されることがあります。表示される内容はディスク情報に依存します。
- ディスクによっては読み込み後、DVDメニューを表示する場合と本編を再生する場合があります。

リターンボタンを使う

DVDメニュー表示中にリターンボタンを押すと、本編の再生にもどります。
再生中にリターンボタンを押すと、DVDメニューの表示にもどります。

チャプターサーチ　<<DVD>>

再生したいチャプター番号を入力すると、そこから再生することができます。

再生中に数字ボタンで、希望のチャプター番号を入力する

例：チャプター番号6を選ぶには
⓪ → ⑥
チャプター番号10を選ぶには
① → ⓪

タイトル　01/12　チャプター **06**/13

入力中のチャプター番号

選んだチャプターから再生が始まります。

トラックサーチ　<<CD>>

再生したいトラック番号を入力すると、そこから再生することができます。

数字ボタンで、希望のトラック番号を入力する

例：トラック番号6を選ぶには
⓪ → ⑥
トラック番号10を選ぶには
① → ⓪

トラック選択:**06**/13

入力中のトラック番号

選んだトラックから再生が始まります。

ちょっとこれを！

- 設定途中で訂正するときは、▲/▼/◀/▶ ボタンを押して設定をキャンセルしてから、もう一度数字ボタンを押します。
- 誤った番号が入力されていると、ディスプレイに「⊘」が表示されます。正しい番号を再入力してください。
- ディスクによってはサーチができないものもあります。
- タイトルとチャプター、トラックについては11ページを参照してください。

再生

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

ディスクの再生情報を見る　DVD/CD

ディスプレイに、経過時間や残り時間などの設定を表示できます。

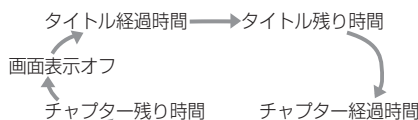
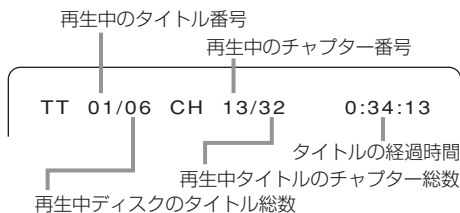
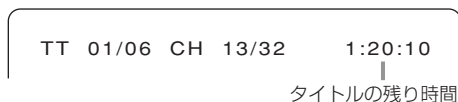
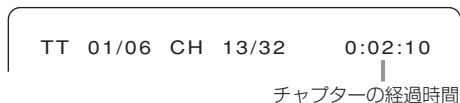
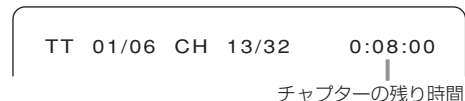
ちょっとこれを！

● スロー再生中やスロー戻し再生中、静止（一時停止）中にディスク情報を表示させることもできます。

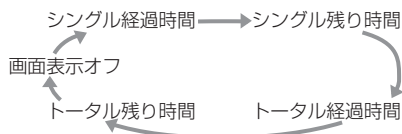
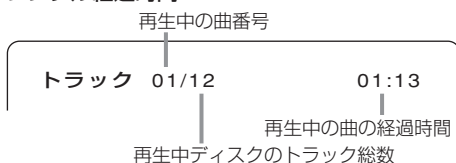
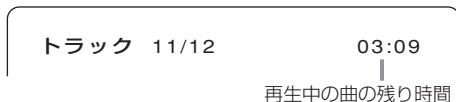
DVD の再生情報を見る　<<DVD>>

再生中に、画面表示ボタンを押す

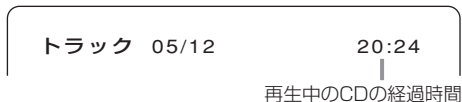
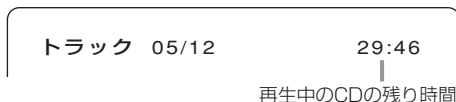
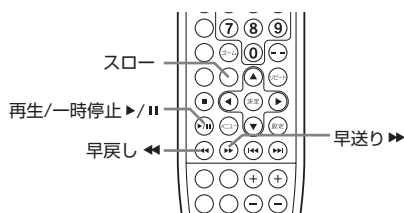
画面表示ボタンを押すたびに、設定が切り換わります。

ディスプレイに以下のように表示されます。

タイトル経過時間

タイトル残り時間

チャプター経過時間

チャプター残り時間

CD の再生情報を見る　<<CD>>

再生中に、画面表示ボタンを押す

画面表示ボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

シングル経過時間

シングル残り時間

トータル経過時間

トータル残り時間

速さを変えて再生する DVD/CD/DATA

静止（一時停止）する

再生中に、再生/一時停止 ▶/❚❚ ボタンを押す
ディスプレイに「❚❚」が表示されます。

DVD：静止
CD：一時停止
DATA：一時停止

通常の再生に戻すときは、再生/一時停止 ▶/❚❚ ボタンを押す

早送り、早戻しする

再生中に、早送り ▶▶ ボタンまたは早戻し ◀◀ ボタンを押す
押すたびに、早さが切り換わります。
ディスプレイには以下のように表示されます。

早送り：早送り ▶▶ ボタン
▶▶ 2X→ ▶▶ 4X→ ▶▶ 8X→ ▶▶ 16X→
▶▶ 32X → ▶（通常再生）→ ▶▶ 2X ･･･

早戻し：早戻し ◀◀ ボタン
◀◀ 2X→ ◀◀ 4X→ ◀◀ 8X→ ◀◀ 16X→
◀◀ 32X→ ▶（通常再生）→ ◀◀ 2X ･･･

通常の再生に戻すときは、再生/一時停止 ▶/❚❚ ボタンを押す

スローモーションで見る <<DVD>>

再生中に、スローボタンを押す
押すたびに、早さが切り換わります。
ディスプレイに以下のように表示されます。

通常の再生に戻すときは、▶ がディスプレイに表示されるまで繰り返しスローボタンを押すか、再生/一時停止 ▶/❚❚ボタンを押す

ちょっとこれを！

- 静止（一時停止）やスロー再生･スロー戻し再生中は、音声がでません。
- DVDでは、早送り、早戻し中は音声が出ません。
- ディスクによっては、早送り、早戻しを自動で解除して再生に切り換わるものがあります。
- ディスクによっては、静止（一時停止）や早送り･早戻し･スロー再生･スロー戻し再生を禁止しているものもあります。

再生

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

繰り返し再生する DVD/CD

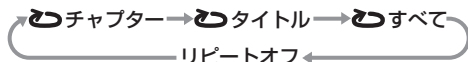
繰り返し再生する

ディスク全体または、タイトル・チャプター/トラックを繰り返し再生できます。

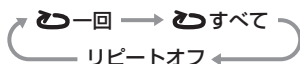
リピートボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

例：DVD

チャプター → タイトル → すべて → リピートオフ

ディスプレイ画面	動作
チャプター	再生中のチャプターを繰り返す
タイトル	再生中のタイトルを繰り返す
すべて	ディスクの内容すべてを繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し

例：CD

一回 → すべて → リピートオフ

ディスプレイ画面	動作
一回	再生中のトラックを繰り返す
すべて	ディスク全体を繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し

通常の再生に戻すには、リピートボタンを繰り返し押して、「リピートオフ」を選ぶ

再生したい部分だけを繰り返し再生する

1 再生中に繰り返し再生したい部分の始点(A)で、A-Bリピートボタンを押す

A

2 繰り返し再生したい部分の終点(B)で、A-Bリピートボタンを押す

AB

自動的にA点に戻り、指定した部分(A-B間)の繰り返し再生が始まります。

通常の再生に戻すには、A-Bリピートボタンを押して「リピートオフ」を選ぶ

ちょっとこれを！

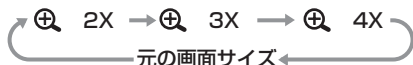
- 本体の電源を切/入したり、ディスクの入れ直しや、停止 ■ ボタンを押して停止すると、リピート再生やA-Bリピート再生は取り消されます。
- ディスクによっては、リピート再生やA-Bリピート再生ができない場合があります。また、チャプターリピートまたはタイトルリピートを選ぶことができない場合があります。
- A-Bリピートは1か所のみ設定できます。

いろいろな映像の見かた　DVD

映像を拡大する(ズーム)

映像を拡大表示することができます。

1 再生または静止中に、ズームボタンを押す
ズームボタンを押すたびに、次のように拡大率が変わります。

2X → 3X → 4X → 元の画面サイズ

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、拡大部分を移動させる

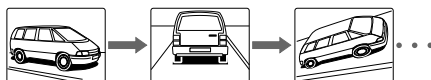
画面の端までくると移動が止まります。

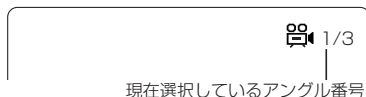
元の映像に戻すには、ズーム表示が消えるまで繰り返しズームボタンを押す
元の大きさに戻ります。

ちょっとこれを！

- スローモーション、早送りや早戻しのときも、ズーム機能が使用できます。
- ディスクに記録されている画面によっては、ズーム機能が働かないものもあります。

映像のアングルを切り換える

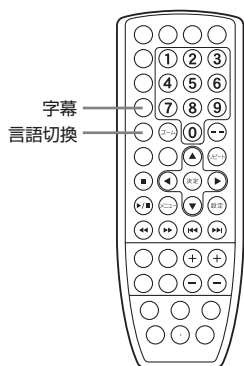
複数のアングルで記録された（マルチアングル）DVDでは、好きなアングルに切り換えることができます。

1 再生中に、アングルボタンを押す

押すたびに、選択しているアングルの番号が切り換わり、アングルが切り換わります。

ちょっとこれを！

- マルチアングルで記録された映像を再生しているときだけ、アングルを切り換えることができます。
- ディスクによってはアングルの切り換えができないものもあります。
- アングルマークは、「総合設定ページ」でアングルマークを「ON」にした場合に表示されます。P54

再生

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

音声または字幕を切り換える　DVD

DVD の音声を切り換える

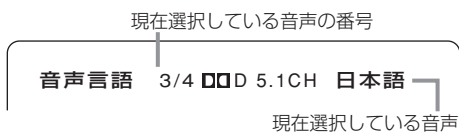
DVDには複数の音声が記録されているものがあり、希望の音声を選んで再生することができます。

再生中に言語切換ボタンを押す

押すたびに、音声が切り換わります。

現在選択している音声の番号

音声言語　3/4 DD D 5.1CH　日本語

現在選択している音声

ちょっとこれを!

- ディスクによっては複数の音声が記録されていても、切り換えができないものもあります。
- 電源を切ったり、ディスクを交換すると、元の音声に戻りますので、お好みの音声を選択してください。
- 選択できる音声はディスク情報によって決まります。

DVD の字幕を切り換える

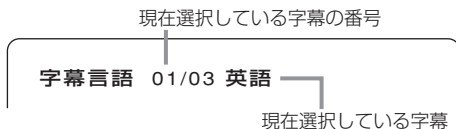
DVDには字幕が記録されているものがあり、再生中にディスプレイに表示できます。複数の字幕が記録されている場合は、希望の字幕を選ぶことができます。また、字幕表示を入/切することもできます。

再生中に字幕ボタンを押す

押すたびに、ディスクで選べる字幕が切り換わります。

現在選択している字幕の番号

字幕言語　01/03　英語

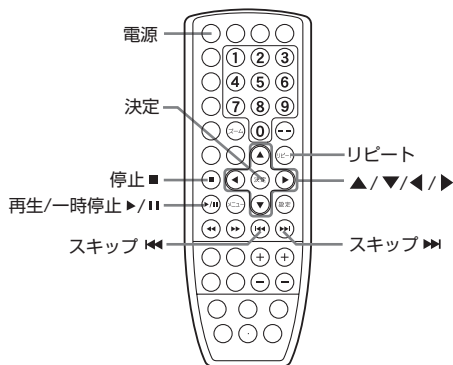
現在選択している字幕

[字幕表示を切るには]

「字幕オフ」の表示が出るまで、字幕ボタンを繰り返し押す

ちょっとこれを!

- ディスクによっては、字幕が記録されていても、字幕表示ができない場合があります。
- ディスクによっては、複数の字幕が記録されていても、切り換えができない場合があります。
- ディスクによっては、字幕を消すことができない場合があります。
- ディスクによっては、DVDメニューから字幕を設定できるものもあります。 P32
- 記録されている字幕言語の種類や数はディスクによって異なります。
- 本体の電源を切/入したりディスクを入れ直したりすると、設定した字幕が取り消されて、元の状態に戻ります。

MP3 ファイルを再生する DATA

データCD(CD-R/RW)に記録されているMP3形式の音楽ファイルを再生することができます。

MP3 ファイルの再生について

- ISO9660フォーマットに準拠したディスクのみ対応しています。
- パケットライトソフト、マルチセッション形式には対応していません。
- オーディオCDトラックとMP3ファイルが混在したCDはMP3のみ再生します。(シングルセッション時のみ)
- ファイル構成にもよりますが、MP3ファイルを読み取るのに1分以上かかることがあります。
- 高品質の音質を得るには44.1kHzのサンプリング周波数、128kbps以上のビットレートでの記録をお勧めします。
- ファイル名、フォルダー名は半角英数字と"_"(アンダースコア)、"－"(ハイフン)で入力されている場合のみ、表示されます。それ以外の文字は正しく表示されません。表示可能な文字数は、14文字までです。
- 読み込み可能なフォルダー数/ファイル数は最大600まで対応しています。ただし、読み込み可能なフォルダー数、ファイル数はライタソフトにより異なることがあります。
- MP3 CDは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- MP3のID3タグには対応していません。
- MP3作成のエンコードソフトによって、曲の前後や曲にノイズが入ることや再生できないことがあります。なお、エンコードソフトやエンコード操作などのパソコン操作に関しては、対応いたしかねます。
- MP3形式のファイルで拡張子「.mp3」または「.MP3」が付加されているファイルを再生できます。
- MP3形式ファイルのサンプリング周波数とビットレート－ 44.1kHz、48kHz、32kbps～320kbps(固定または可変のビットレート)
- MPEGオーディオレイヤー3のみ対応しています。

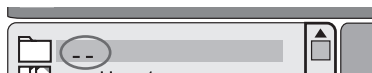
MP3 ファイルを再生する

1 「ディスクを再生する」P.29の1～4の手順で、ディスクを入れる

- ディスプレイにファイルブラウザ(ファイル一覧画面)が表示され、最初のフォルダーの音楽ファイル/フォルダー一覧画面が表示されます。

(例:)

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、再生したいファイルのあるフォルダーを選ぶ

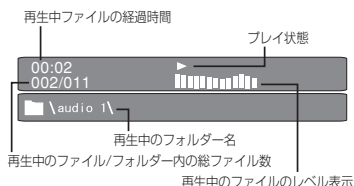
- ボタンを押すたびに、次または前のファイルまたはフォルダーへ移動します。
- フォルダー内のサブフォルダーを選ぶときは対象のサブフォルダーを選択した後、**決定**ボタンか ▶ ボタンを押すとサブフォルダーの内容が表示されます。
- ◀ ボタンを押すか、「_ _」の表示されたフォルダーを選択した後、**決定**または ▶ ボタンを押すと、前のフォルダー画面に戻ることができます。

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

再生

4 決定または再生/一時停止 ►/ ▮▮ ボタンを押す

選択したファイルが再生された後、以降の曲が順に再生されます。

- ディスプレイに「 ► 」が表示され、再生中のファイル名またはフォルダー名が表示されます。

※左チャンネルにデータが入っていないと、グラフィック表示はしません。

再生を途中で止める

停止 ■ ボタンを押す

ディスプレイに「 ■ 」が表示され、再生中のファイルが停止します。

一時停止する

再生中に、再生/一時停止 ►/ ▮▮ ボタンを押す

ディスプレイに「 ▮▮ 」が表示され、再生中のファイルが一時停止します。

通常の再生に戻すときはもう一度再生/一時停止 ►/▮▮ ボタンを押す

ちょっとこれを!

- ファイル名は半角英数字で入力されている場合のみ正しく表示されます。
- MP3ファイル再生には、リジューム機能はありません。
- 1枚のディスクにMP3形式の音楽ファイルとJPEG形式の画像ファイルが記録されている場合に、MP3ファイルの再生を行ったときは、JPEG形式のファイルは再生されず、MP3形式のファイルのみが再生されます。
- 1枚のディスクにMP3とJPEGのファイルが記録されている場合に、次または前のファイルがJPEGファイルのときスキップボタンを押すと、JPEGのスライドショー再生になります。この場合、スキップボタンではMP3再生には戻りません。メニューボタンを押しファイルブラウザを表示させ、再度MP3を選択し再生してください。P.39

ファイルをとび越す／頭出しする(スキップ)

次のファイルへ進む

再生中に、スキップ►►| ボタンを押す

次のファイルの頭から再生します。

前のファイルへ戻る

再生中に、スキップ |◄◄ ボタンを押す

再生中のファイルの1つ前のファイルの頭から再生します。

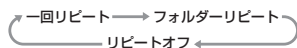
ちょっとこれを!

- 同一のフォルダー内でのみファイルのとび越し、または頭出し(スキップ)をすることができます。

繰り返し再生する

リピートボタンを押して、リピートモードを選ぶ

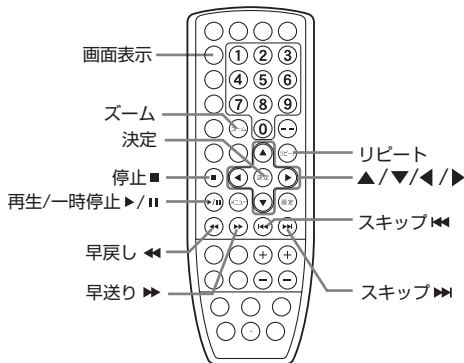
押すたびに、画面下部のステータス欄に以下のように表示が切り換わります。

一回リピート → フォルダーリピート → リピートオフ → 一回リピート

ディスプレイ画面	動作
一回リピート	再生中のファイルを繰り返す
フォルダーリピート	フォルダー全体を繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し フォルダーの最後のファイルを再生したら、停止する

ちょっとこれを!

- 本機の電源を切/入したり、ディスクの入れ直しや、停止 ■ ボタンを押したりすると、リピート再生は取り消されます。

JPEGファイルを再生する　DATA

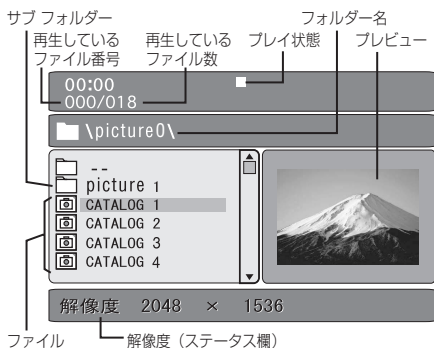
データCD(CD-R/RW)に記録されているJPEG形式の画像ファイルを再生することができます。

JPEGファイルの再生について

- ISO9660フォーマットに準拠したディスクのみ対応しています。
- パケットライトソフト、マルチセッション形式には対応していません。
- JPEG形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。
- オーディオCDトラックとJPEGファイルが混在したCDはJPEGのみ再生します。(シングルセッション時のみ)
- ファイル構成にもよりますが、JPEGファイルを読み取るのに1分以上かかることがあります。
- ファイル名、フォルダー名は半角英数字と"_"(アンダースコア)で入力されている場合のみ、表示されます。それ以外の文字は正しく表示されません。
- 読み込み可能なフォルダー数/ファイル数は最大600まで対応しています。ただし、読み込み可能なフォルダー数、ファイル数はライタソフトにより異なることがあります。
- ファイルサイズが大きい場合は、ディスプレイに表示されるのに時間がかかることがあります。
- 解像度は3072×2048まで表示可能です。
- JPEG CDは、記録された順序で再生できないことがあります。
- JPEG CDは、記録状態により再生できないことがあります。

JPEGファイルを再生する

1 「ディスクを再生する」P.29の1～4の手順で、ディスクを入れる

ディスプレイにファイルブラウザ(ファイル一覧画面)が表示され、最初のフォルダーの画像ファイル/フォルダー一覧画面が表示されます。

(例:)

プレビュー欄に、選択した画像ファイルのプレビューが表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、見たい画像ファイルのあるフォルダーを選ぶ

- ボタンを押すたびに、次または前のファイルまたはフォルダーへ移動します。
- フォルダー内のサブフォルダーを選ぶときは対象のサブフォルダーを選択した後、決定ボタンか ▶ ボタンを押すとサブフォルダーの内容が表示されます。
- ◀ ボタンを押すか、「_ _」の表示されたフォルダーを選択した後、決定または ▶ ボタンを押すと、前のフォルダー画面に戻ることができます。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

再生

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ

4 決定または再生/一時停止 ▶/II ボタンを押す

選択した画像と以降の画像が、順にスライドショー再生されます。

ちょっとこれを!

- ファイル名は、半角英数字と"_"(アンダースコア)で入力されている場合のみ正しく表示されます。
- 1枚のディスクにMP3形式の音楽ファイルと、JPEG形式の画像ファイルが記録されている場合に、JPEGを選択して再生すると、MP3形式のファイルが自動的にスキップされ、JPEG形式の画像ファイルのみ再生されます。

スライドショー再生を途中で止める

停止 ■ ボタンを押す

スライドショー再生が停止し、サムネイル(縮小画像一覧)が表示されます。

ふたたびスライドショー再生をはじめるには、▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、見たい画像を選び、再生 ▶ ボタンを押してください。

ファイルブラウザ(ファイル一覧画面)に戻りたい場合は、メニューボタンを押してください。

一時停止する

スライドショー再生中に、再生/一時停止 ▶/II ボタンを押す

ディスプレイに「II」が表示され、再生中のファイルが一時停止します。

通常のスライドショー再生に戻すときは
決定または再生/一時停止 ▶/II ボタンを押す

ファイルをとび越す／頭出しする(スキップ)

次のファイルへ進む

スライドショー再生中に、スキップ ▶▶I ボタンを押す

ディスプレイに「▶▶I」が表示され、次のファイルを再生します。

前のファイルへ戻る

スライドショー再生中に、スキップ I◀◀ ボタンを押す

ディスプレイに「I◀◀」が表示され、再生中のファイルの1つ前のファイルを再生します。

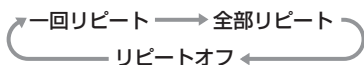
ちょっとこれを!

- 同一のフォルダー内でのみファイルのとび越し、または頭出し(スキップ)をすることができます。
- サムネイル表示中に「ヘルプ」を選択して決定ボタンを押すと、機能リストが表示されます。機能リストの内容については、本書41〜43ページに記載しています。

繰り返し再生する

リピートボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、ステータス欄に以下のように表示が切り換わります。

一回リピート → 全部リピート → リピートオフ → 一回リピート

ディスプレイ画面	動作
一回リピート	スライドショー再生中のファイルを繰り返し表示する
全部リピート	フォルダー全体を繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し フォルダーの最後のファイルを再生すると停止する

ちょっとこれを!

- 本機の電源を切/入したり、ディスクを入れ直すと、リピート再生は取り消されます。

画面切換の効果を変更する

スライドショー再生中の画面切換の効果を変更することができます。

スライドショー再生または一時停止中に、画面表示ボタンを押す

ボタンを押すたびに画面切換の効果(画面表示の切り換わりかた)が変更されます。

画像を拡大・縮小する(ズーム)

映像を拡大または縮小表示することができます。

1 スライドショー再生または一時停止中に、ズームボタンを押す

2 画像を拡大する場合、早送り ▶▶ ボタンを押す

画像を縮小する場合、早戻し ◀◀ ボタンを押す

50%〜200%まで6段階に調整できます。

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、拡大部分を移動させる

- 画面の端が表示されるまで移動できます。

元の映像に戻すには、幾度かズームボタンを押す

元の大きさに戻ります。

ちょっとこれを!

- スキップ ▶▶| 、またはスキップ |◀◀ ボタンを押しても、ズームモードが解除されます。

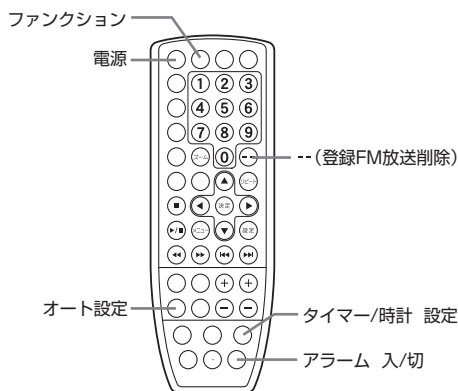
画像を回転・反転する

スライドショー再生または一時停止中に、▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、画像を回転・反転させる

押すたびに画像を回転・反転します。

再生

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

FM放送の受信を設定する

準備　● FM室内アンテナを接続してください。接続のしかたについては、17ページを参照してください。

受信するFM放送を自動的に探す

お住まいの地域で受信可能なFM放送を自動的に検出して記憶できます。

1 本体の電源スイッチを「入」に合わせる

本体の電源が入ります。ただし、本体の電源ランプが消えている場合は、リモコンの電源ボタンを押してください。

2 ファンクションボタンを押して、FMモードを選ぶ

押すたびに、設定が切り換わります。
ディスプレイには以下のように表示されます。

※1 TV(CATV) → AV → DVD → ※2 (FM)

※1 現在、選択されているチャンネル番号が表示されます。
※2 ファンクションがFMに切り換わると、ディスプレイが消えて何も表示されません。

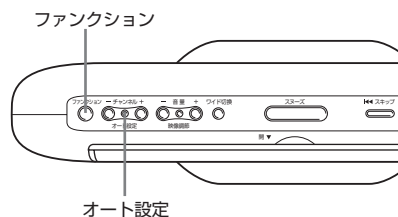
本機がFMモードのときは、表示窓が次のようにFM放送の周波数の表示に切り換わります。

3 オート設定ボタンを押して、放送局を記憶させる

受信したFM放送の周波数を次々に記憶しておきます。記憶動作が終わると、一番小さい数字の周波数が表示窓に表示されます。

本体ボタンでの設定をおこなう場合

1 ファンクションボタンを押して、FMモードを選ぶ

2 オート設定ボタンを押して、放送局を記憶させる

ちょっとこれを！

● FM自動受信設定は電波の状態によっては雑音の多い局も記憶することがあります。その場合には46ページに従い削除していただくことをおすすめします。

FM放送の受信を設定する

受信するFM放送を手動で設定する

受信したいFM放送の周波数を直接入力して受信します。

1 **本体の電源スイッチを「入」に合わせる**

本体の電源が入ります。ただし、本体の電源ランプが消えている場合は、リモコンの電源ボタンを押してください。

2 **ファンクションボタンを押して、FMモードを選ぶ**

押すたびに、設定が切り換わります。
ディスプレイには以下のように表示されます。

※1 TV(CATV) → AV → DVD → ※2 (FM)

※1 現在、選択されているチャンネル番号が表示されます。
※2 ファンクションがFMに切り換わると、ディスプレイが消えて何も表示されません。

本機がFMモードのときは、表示窓が次のようにFM放送の周波数の表示に切り換わります。

3 **タイマー／時計 設定ボタン(FMチューニング+)およびアラーム 入／切ボタン(FMチューニング−)を押して、希望の放送を受信する**

タイマー／時計 設定ボタンを押すごとに、受信周波数が0.1MHz単位で大きくなります。
アラーム入／切ボタンを押すごとに、受信周波数が0.1MHz単位で小さくなります。
また、ボタンを2秒以上押すと周波数が自動的に進み、放送を受信すると自動停止します。

ちょっとこれを！

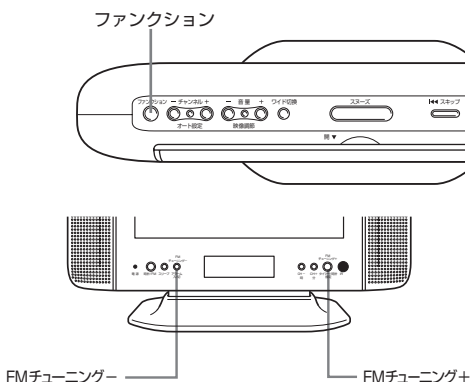
- 新聞の番組欄などを利用して、周波数を正しく合わせてください。
- 選局中に、FM周波数の上限または下限に達すると、周波数は下限または上限に移ります。

本体ボタンで設定をおこなう場合

1 **電源スイッチを「入」に合わせる**

本体の電源が入ります。ただし、本体の電源ランプが消えている場合は、リモコンの電源ボタンを押してください。

2 **ファンクションボタンを押して、FMモードを選ぶ**

3 **FMチューニング+／−ボタンを押して、希望の放送を受信する**

手動で設定したFM放送を登録する

手動で設定したFM放送を、あとでいつでも呼び出せるように登録できます。

1 **「受信するFM放送を手動で設定する」P.45の手順に従って、登録するFM放送を受信する**

2 **決定ボタンを4秒以上押す**

手動で設定したFM放送が登録され、設定した周波数が点滅します。

登録されたFM放送は、オート設定 P44で記憶させたFM放送の後に順次追加されます。

ちょっとこれを！

- 登録できる FM 放送は 140 個までです。

登録したFM放送を削除するには

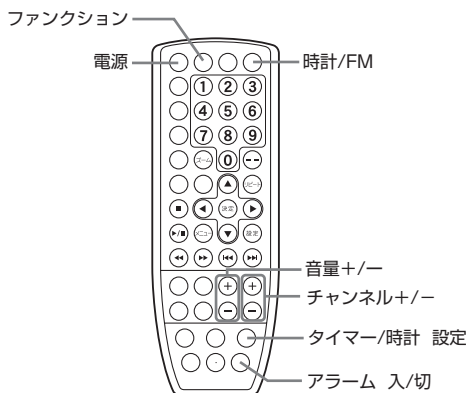
1 **登録したFM放送を受信する**

2 **リモコンの－－ボタンを4秒以上押す**

登録したFM放送が削除されます。

ちょっとこれを！

- この操作で、オート設定で記憶させたFM放送も削除できますが、すべてのFM放送を削除することはできません。（登録された FM 放送が 1 つだけになったときは、その FM 放送を削除することはできません。）

FMラジオを聞く

準備
- FM室内アンテナを接続してください。接続のしかたについては、17ページを参照してください。
- 44ページの手順でFM放送を受信してください。

1 本体の電源スイッチを「入」に合わせる

本体の電源が入ります。ただし、本体の電源ランプが消えている場合は、リモコンの電源ボタンを押してください。

2 ファンクションボタンを押して、FMモードを選ぶ

押すたびに、設定が切り換わります。
ディスプレイには以下のように表示されます。

※1 TV(CATV) → AV → DVD → ※2 (FM)

※1 現在、選択されているチャンネル番号が表示されます。
※2 ファンクションがFMに切り換わると、ディスプレイが消えて何も表示されません。

本機がFMモードのときは、表示窓が次のようにFM放送の周波数の表示に切り換わります。

3 受信するFM放送を選ぶ

オート設定ボタンで受信するFM放送を自動的に探した場合は、チャンネル＋／－ボタンを押すと、自動的に記憶した放送局を順に選局できます。
手動でFM放送の周波数を設定するときは、タイマー／時計　設定ボタン（FMチューニング＋）およびアラーム入／切 ボタン（FMチューニング－）を押して、希望の放送の周波数を表示窓に表示させます。

4 音量を調節する

音量＋／－ボタンを押して調節します。

ちょっとこれを！

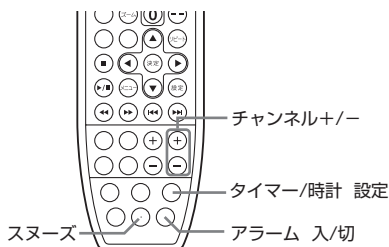
- よりよい受信をおこなうためには、FM室内アンテナの位置を変え、最も良く聞こえるようにしてください。

FM放送受信中に時刻を確認するには

本体の時計／FMボタンを押すと、表示窓が時刻表示に切り換わります。もう一度時計／FMボタンを押すと、表示窓に受信中のFM放送の周波数が表示されます。

ちょっとこれを！

- 時計／FMボタンを押すと、ファンクションボタンで選択したモード(TV(CATV)/AV/DVD)に関わらず、FMモードに切り換わります。

アラームを使う

アラームを設定して、本機をめざまし時計として使用できます。

準備　● 本機の電源を入れ、現在時刻に誤差があるときは正しく設定をし直してください。P23

アラームを設定する

1 本体の電源スイッチを「アラーム」に合わせる

本機の電源が切れ、本体前面の電源ランプが消灯します。

2 タイマー／時計 設定ボタンを押す

表示窓にアラームが鳴る時刻が表示されます。

3 5秒以内にチャンネル+／−ボタンを押してアラームが鳴る時刻を設定する

時（またはチャンネル−）ボタンを押すと、表示窓の「時」の数値が1時間単位で上がります。
分（またはチャンネル+）ボタンを押すと、表示窓の「分」の数値が1分単位で上がります。

4 タイマー／時計 設定ボタンを2度押す

アラームの設定が確定します。

アラームを有効にする

1 本体の電源スイッチを「アラーム」に合わせる

本機の電源が切れ、本体前面の電源ランプが消灯します。

2 アラーム 入／切ボタンを押す

表示窓に🔔（アラームアイコン）が表示され、アラームが有効になっていることを示します。
設定した時刻になると、アラームが鳴ります。

ちょっとこれを！

- もう一度アラーム 入／切ボタンを押すと、🔔（アラームアイコン）が消え、アラームが無効になります。
- アラーム音量は固定になっていて、変更はできません。（音量 15 で固定されています。）
- ヘッドホン端子にヘッドホンを接続した場合は、アラーム音はそのヘッドホンからのみ聞こえます。
- アラームを停止しなかった場合は、最長 15 分鳴り続けます。

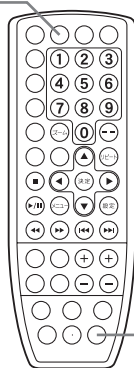
アラームを止めるには

アラームを一時停止するには（スヌーズ）

スヌーズボタンを押すと、アラームが一時的に停止します。この場合は、5分後にアラームが再度鳴ります。
スヌーズボタンによる一時停止は2回まで有効です。

アラームを完全に停止するには

アラーム 入／切ボタンを押すと、(アラームアイコン)は消えます。

タイマーを使う

アラームの設定時刻に、本機の機能をタイマー動作で開始できます。めざまし時計の代わりに、テレビを点けたり、ディスクを再生したり、FMラジオを鳴らすことができます。

準備 ● 本機の電源を入れ、現在時刻に誤差があるときは正しく設定をし直してください。P23

タイマーを設定する

1 ファンクションボタンを押して、タイマー動作させたいファンクションを選ぶ

タイマー動作でディスクを再生するときは、再生するディスクを入れておきます。
テレビを見たりFM放送を聞くときは、チャンネル／周波数を合わせておきます。
目覚ましに使うお好みの音量に合わせてください。

2 本体の電源スイッチを「タイマー」に合わせる

本機の電源が切れ、本体前面の電源ランプが消灯します。

3 タイマー時刻を設定する

設定方法については48ページ「アラームを設定する」をご覧ください。

4 アラーム 入／切ボタンを押す

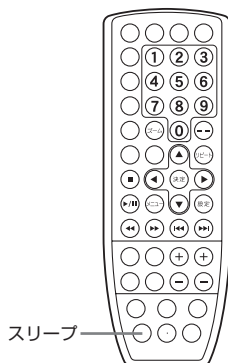
表示窓に🔔（アラームアイコン）が表示され、タイマーが有効になっていることを示します。
設定した時刻になると、タイマー動作が開始します。

- もう一度アラーム 入／切ボタンを押すと、🔔(アラームアイコン）が消え、タイマーが無効になります。
- ヘッドホン端子にヘッドホンを接続した場合は、アラーム音はそのヘッドホンからのみ聞こえます。

タイマー動作を止めるには

本体の電源スイッチを「切」にします。

スリープ機能を使う

一定時間経過後に、本機の電源を自動的に切ることができます。

1 本体の電源スイッチを「タイマー」に合わせる

本機の電源がいったん切れ、本体前面の電源ランプが消灯します。

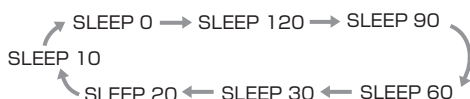
2 スリープボタンを押す

本機の電源が入り、前の手順で電源を切る前に使用していた機能が再開します。

3 スリープボタンを押して、電源が切れるまでの時間を選ぶ

表示窓に「SLEEP」と、電源が切れるまでの時間が表示されます。

SLEEP 0

スリープボタンを押すたびに、電源が切れるまでの時間が以下のように切り換わります。

数秒後にもとの表示に戻り、設定が終了します。

電源が自動的に切れるまでの時間を確認するには

スリープボタンを1回押すと、残り時間が表示窓に表示されます。

ちょっとこれを！

- ここで続けてスリープボタンを押すと、ここまでのスリープ設定が無効になり、スリープ機能を再設定できます。

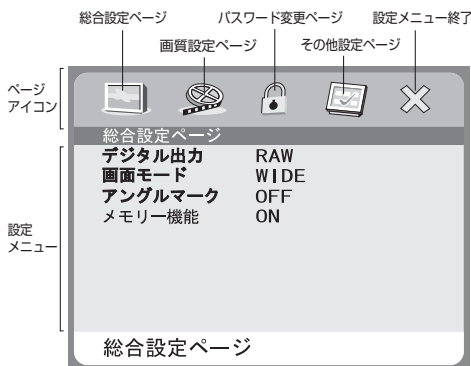
スリープを解除するには

「SLEEP 0」と表示されるまでスリープボタンを押します。

DVD システム設定

<各種設定はディスク情報が優先されます>

システム設定画面について

本機には、様々な機能が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

DVDの設定画面には、5つのページがあります。各設定については、各参照ページをご覧ください。

■総合設定ページ

DVDの画面表示についての設定ができます。

・デジタル出力 53
・画面モード 53
・アングルマーク 54
・メモリー機能 54

■画質設定ページ 54

ディスプレイの表示の輝度、コントラスト、色調、彩度、シャープネスを設定できます。

■パスワード変更ページ 55

視聴年齢制限設定を変更するためのパスワードが設定できます。

■その他設定ページ

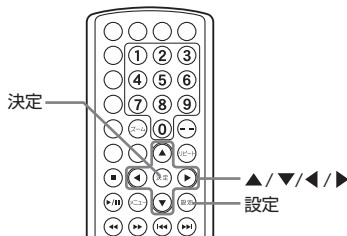
ディスクが持っている音声や字幕などの情報を設定できます。ディスクの再生中は設定できません。

・音声言語 56
・字幕言語 56
・メニュー言語 56
・視聴制限 57
・初期設定 57

■設定メニュー終了

各画面の切り換えと選択のしかた

● あらかじめファンクションボタンで DVD モードにしてください。

設定を変更するときは、以下の手順で変更してください。

1 **設定ボタンを押す**

システム設定画面が表示されます。

2 **◀/▶ボタンでページアイコンを選択し、決定ボタンを押す**

設定メニューの最初の項目が選択されます。

3 **▲/▼ボタンで設定メニューを選択し、決定ボタンを押す**

設定項目が黄色で選択されます。

4 **▲/▼ボタンで設定項目を選択し、決定ボタンを押す**

設定が確定されます。

別のページアイコンを選択するには

設定メニュー内の黄色の選択が消えるまで ◀ ボタンを何度か押す

通常の画面に戻るには

以下のどちらかの操作をおこなうと、システム設定画面が消えます。

● 設定ボタンを押す。

● 設定メニュー終了ページにカーソルをあわせて、決定ボタンまたは▼ボタンを押す。

DVDシステム設定

音声のデジタル出力を設定する

外部出力するときに接続するオーディオ機器に合わせて、高音質なデジタル出力の設定ができます。

P52 「各画面の切り換えと選択のしかた」の手順で設定をおこないます。

ページアイコンは「総合設定ページ」を選択してください。

オフ:

デジタル音声出力端子からのデジタル信号の出力がオフになります。

RAW:

ドルビーデジタルを内蔵したオーディオ機器を接続したときに選びます。

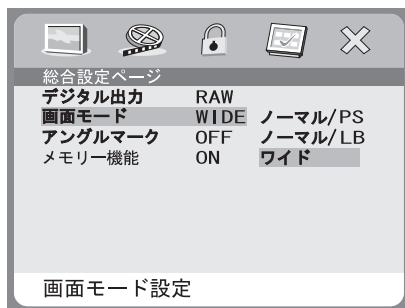
PCM:

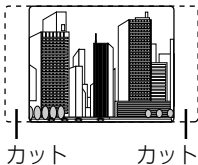
通常のオーディオ機器で再生するときに選びます。ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。DTS信号は出力しません。

画面モードを設定する

画面のサイズを設定します。

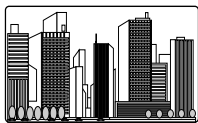
P52 「各画面の切り換えと選択のしかた」の手順で設定をおこないます。

ページアイコンは「総合設定ページ」を選択してください。

ノーマル/PS(パンスキャン):

パンスキャンに対応したワイド画面(16:9)のディスクを再生したとき、ワイド画面の一部をカットして再生します。パンスキャンに対応しないワイド画面(16:9)のディスクではレターボックスで再生します。

ノーマル/LB(レターボックス):

ワイド画面(16:9)のディスクを再生したとき、レターボックス(上下に黒い帯のある画面)で再生します。

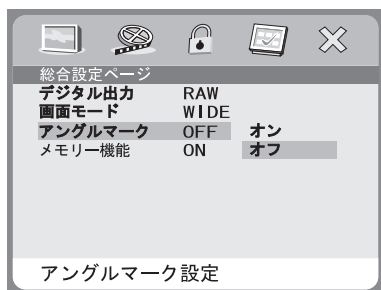
ワイド(出荷時):

ワイド画面(16:9)のディスクを再生したとき、フル画像で再生します。表示モードで「フル」を選択してください。

- 画面に映し出される映像はソフトの種類によって異なります。

DVD システム設定

アングルマークの表示を設定する

マルチアングルDVDを再生している時に表示されるアングルマークの表示/非表示を設定します。

P52 「各画面の切り換えと選択のしかた」の手順で設定をおこないます。
ページアイコンは「総合設定ページ」を選択してください。

オン:　アングルマーク表示。
オフ(出荷時):　アングルマーク非表示。

メモリー機能を設定する

メモリー機能のオン、オフを設定します。
以下のような場合には、直前に再生していた部分を本体のメモリーに記憶しているので、その続きから再び再生を始めることができます。このメモリー機能は電源を切るかファンクションを変えるまで有効です。

- DVDやCDの再生中にディスクトレイカバーを開けて一度ディスクを取り換えた後、再びディスクを戻した場合

P52 「各画面の切り換えと選択のしかた」の手順で設定をおこないます。
ページアイコンは「総合設定ページ」を選択してください。

オン(出荷時):メモリー機能オン。
オフ:メモリー機能オフ。

ちょっとこれを!

- 違うディスクと入れ換えて再生するとメモリー機能は消えます。
- MP3やJPEGではメモリー機能は働きません。

画質を設定する

ディスプレイの表示の輝度、コントラスト、色調、彩度を設定します。
P52「各画面の切り換えと選択のしかた」の手順で設定をおこないます。
ページアイコンは「画質設定ページ」を選択してください。

DVD システム設定

シャープネス以外の項目

設定項目(輝度、コントラスト、色調、彩度)の選択後に決定ボタンを押すと、その項目の設定画面が表示されますので、◀ / ▶ボタンを押して設定を変更します。

	◀ボタン	▶ボタン
輝度	暗（–20まで）	明（+20まで）
コントラスト	淡（–16まで）	濃（+16まで）
色調	緑（–9まで）	紫（+9まで）
彩度	淡（–9まで）	濃（+9まで）

決定ボタンを押すと、設定が確定し、画質設定ページに戻ります。

シャープネス

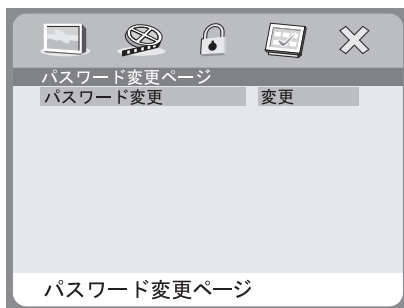
「シャープネス」の選択後に決定ボタンを押してから、▲／▼ボタンを押して「強」「中」「弱」のいずれかに設定を変更します。

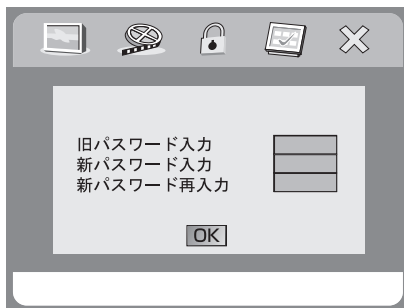
ちょっとこれを！

● シャープネスは映像の輪郭の強さを調整する設定です。たとえば、輪郭がくっきりしすぎている場合に「中」または「弱」にします。

パスワードを変更する

視聴年齢制限設定P57で必要になるパスワードの変更がおこなえます。

P52 「各画面の切り換えと選択のしかた」の手順1～3と同様に設定をおこないます。
ページアイコンは「パスワード変更ページ」を選択してください。

1 決定ボタンを押す

パスワード入力画面が表示されます。

2 旧パスワード数字4桁を数字ボタンで入力する

画面下に「新パスワード入力」と表示されます。

3 引き続き新パスワード数字4桁を入力する

画面下に「新パスワード再入力」と表示されます。

4 確認のため、新パスワード数字4桁を再入力する

画面下に「変更」と表示されます。

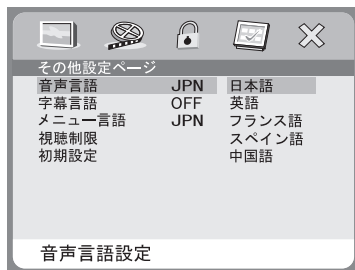
5 最後に決定ボタンを押す

新しいパスワードに変更されます。
初期状態のパスワードは「3308」です。

パスワードを忘れたときは
初期設定のパスワード「3308」を入力する

音声言語を設定する

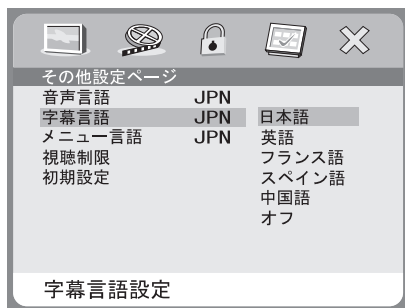
複数の音声が記録されている場合、希望の音声を選ぶことができます。

P52 「各画面の切り換えと選択のしかた」の手順で設定をおこないます。
ページアイコンは「その他設定ページ」を選択してください。

選択された各言語に切り換えます

- ディスクの再生中は、「その他設定ページ」の項目を選択できません。
- ディスクによっては設定を変更できない場合があります。

字幕言語を設定する

複数の字幕が記録されている場合は、希望の字幕を選ぶことができます。また、字幕表示を入/切することもできます。
ディスクによっては設定を変更できない場合があります。

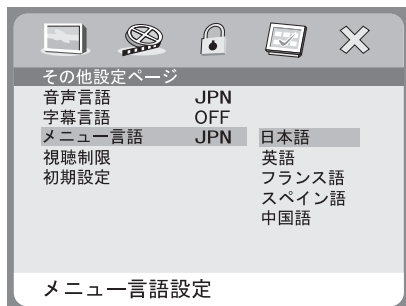
P52 「各画面の切り換えと選択のしかた」の手順で設定をおこないます。
ページアイコンは「その他設定ページ」を選択してください。

選択された各言語に切り換えます
オフ: 字幕非表示。

ちょっとこれを!

- 設定した言語がディスクにないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。
- ディスクの再生中は、「その他設定ページ」の項目を選択できません。

メニュー言語を設定する

メニューの表示言語を設定します。
- ディスクによっては設定を変更できない場合があります。

P52 「各画面の切り換えと選択のしかた」の手順で設定をおこないます。
ページアイコンは「その他設定ページ」を選択してください。

選択された各言語に切り換えます

DVD システム設定

ちょっとこれを!

- 設定した言語がディスクにないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。
- ディスクの再生中は、「その他設定ページ」の項目を選択できません。

視聴制限（視聴年齢制限設定）を設定する

暴力場面などを含むDVDディスクには、見る人の年齢によって視聴を制限できるようにレベル設定されているものがあります。
本機では、どのレベルまで再生できるかを設定できます。
適切な制限レベルは実際にお客さまご自身で動作させてご確認ください。

P52 「各画面の切り換えと選択のしかた」の手順1～4と同様に設定をおこなうと、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力してOKを押してください。。
ページアイコンは「その他設定ページ」を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7 8
制限大 ←→ 制限小

8 ADULT(出荷時)： 視聴制限なし。

初期設定に戻す

工場出荷時の初期設定に戻します。

P52 「各画面の切り換えと選択のしかた」の手順で設定をおこないます。
ページアイコンは「その他設定ページ」を選択してください。

- 「視聴制限」のパスワードは、初期化されませんのでご注意ください。

故障かなと思ったら？

修理を依頼される前に、もう一度次の項目をお確かめください。

全般

症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源が入らない	電源アダプターが抜けている	コンセントに電源アダプターをしっかり差し込む	21
	電源スイッチが「切」（または「タイマー」「アラーム」）になっている	電源スイッチを「入」に合わせる	21
電源を入れてもすぐに切れる	本機が落雷や過度の静電気など、外部からの強い電気ショックを受けている	本体の電源を切り、電源アダプターを抜いて、約30秒経ってから差し込み直して、電源を入れる	21
電源が入っているのに操作ができない	操作したいモードになっていない	操作したいモードに切り換える	24・26 27・29
本機が正常に作動しない	内部マイコンが外部電気ショック(落雷または過度の静電気)、または電源電圧の低下によってフリーズしている	コンセントから電源アダプターを抜き、約5秒後にもう一度差し込む	21
ディスクトレイカバーの内側が熱く感じる	液晶のバックライトの発熱によるもの	故障ではありません	–

映像について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
画像が出ない	AVモードになっている FMモードになっている	DVDモードまたはTV（CATV）モードに切り換える	24･26・29
外部入力の映像を見ることができない	本機と外部機器が正しく接続されていない	本機と外部機器をケーブルで正しく接続する（必要に応じてケーブルを交換する）	18

音声について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音声が出ない	音量が下がっている	音量を調節する	30
	本機で再生できないCD-ROMなどを再生している	本機で再生可能な信号のディスクを再生する	10･11・12
デジタル機器や高周波機器から雑音が出る	本機がデジタル機器または高周波機器に接近しすぎている	本機をそれらの機器から離して設置する	–
音声が途切れる	電気雑音の発生しやすいところで使用している	設置場所を変えてみる	–

故障かなと思ったら？

ディスク再生について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
画像がきれいに映らない	ディスクが汚れている、反っている、または傷がある	ディスクをきれいにする、またはディスクを交換する	9
早送り／早戻しのとき画像が乱れる	多少乱れが出ることがある	故障ではありません	–
「ディスクを入れてください」と表示される	ディスクが入っていない	ディスクを入れる	29
	ディスクが汚れている、反っている、または傷がある	ディスクをきれいにする、またはディスクを交換する	9
「不明ディスク」と表示される	本機で再生できないディスクが入っている	再生できるディスクの種類や、テレビ方式を確認する	9・10・11
「地域コードが間違っています」と表示される	リージョンコードが違っている	リージョンコード2もしくはALLのディスクを入れる	11
再生が始まらない。または、すぐに停止する	システム設定画面が表示されている	設定ボタンを押して画面表示を消す	52
	視聴年齢制限が設定されている	視聴年齢制限を解除、または規制レベルを変更する	57
	寒いところから急に暖かいところに持ってきて、レンズ部に露が付いている	2〜3時間放置する	8
	本機で再生できないディスクが入っている	再生できるディスクの種類やテレビ方式を確認する	10
各ボタン操作ができない	特定の操作ができないディスクを使用している	故障ではありません ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合がある	–
音声/字幕が切り換えられない	複数の音声/字幕が入っていないディスクでは切り換えできない	故障ではありません	–
	音声/字幕切り換え操作では切り換えできないディスクを再生している	故障ではありません メニュー画面等で切り換えできる場合がある	–
字幕が出ない	ディスクに字幕が記録されていない	故障ではありません ディスクにより字幕が記録されていないものがある	–
	字幕が「オフ」になっている	字幕を設定する	38・56
アングルを変えて見ることができない	ディスクに複数のアングルが記録されていない	故障ではありません 複数のアングルが記録されているディスクでのみ切り換えできる	37
MP3のディスクが再生できない	対応フォーマットまたは条件が合っていない、あるいは記録状態が悪い	対応フォーマットまたは条件に合うディスクや記録状態の良いディスクに交換する	39
MP3のディスクで読み込み時間がかかりすぎる	ファイル構成の問題や、つけられているファイル名が長すぎる	故障ではありません ファイル構成やファイル名を確認する	39

故障かなと思ったら？

ディスク再生について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
JPEGを再生した後に同じディスクに入っているMP3が再生できない	MP3とJPEGが1枚のディスクに入っている場合、JPEG再生後にMP3は再生できない	故障ではありません 「メニュー」ボタンを押しファイルブラウザから再生したいMP3ファイルを選択する	39
DVDレコーダーなどで記録したDVDディスクが再生できない	VRモードで記録され、かつファイナライズ処理されていないディスクを使用している	ビデオモードで記録され、かつファイナライズ処理されたディスクを使用する	10
DVDとCDのディスクによる音量差を感じる	一般的にDVDよりもCDの方が記録レベルが高い	故障ではありません	–

テレビについて

症　状	原　因	処　置	参照ページ
DVD-VIDEOロゴが表示される	DVDモードになっている	テレビモードに切り換える	26
画像も音声も出ない	外部入力モードの画面になっている	テレビモードに切り換える	26
映りが悪い	アンテナケーブルが端子からはずれている。	アンテナやアンテナケーブルを正しく接続する	15・16
	アンテナやアンテナ線が破損している		
画面に斑点が出る	自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、電気掃除機、ヘアドライヤーなどから妨害電波を受けている	アンテナやアンテナ線、本体をそれぞれの原因になっているものからできるだけ離す	–
二重三重に映る（ゴースト障害）	アンテナの向きがずれている	アンテナの位置、高さ、方向などを変えてみる	–
	山や建物からの反射電波の影響を受けている	アンテナの位置、高さ、方向などを変えてみる	–
色のついた模様が出る	他のテレビやラジオ、パソコン、ファクシミリから出る妨害電波の影響を受けている	妨害を受けているものの電源を切る	–
色が消える	色の濃さの調整がずれている	色の濃さを調整する	28
	受信チャンネル設定がずれている	正しい受信チャンネルに合わせる	24
雪が降ったような画面になる（スノーノイズ）	アンテナの向きがずれている	アンテナの位置、高さ、方向などを変えてみる	–
	アンテナ線が切れたり、はずれている	アンテナ線を正しく接続する	15・16

注意：アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

故障かなと思ったら？

リモコンについて

症　状	原　因	処　置	参照ページ
リモコンが働かない	リモコンが受光部に向いていない	リモコンの送信部を本体の受光部に向ける	20
	リモコンと受光部の間が遠すぎる	約4m以内のところで操作する	20
	リモコンと受光部の間に障害物がある	障害物を取り除く	20
	リモコンの電池が消耗している	電池を交換する	20
	本機のリモコン受光窓に直射日光や照明（インバーター蛍光灯など）が当たっている	照明、または本体の向きを変える	20

FMラジオの受信について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
FMラジオを受信できない	FM室内アンテナが接続されていない（またははずれている）	FM室内アンテナを接続する	17
ノイズが多い	正しい周波数で受信していない	新聞などのテレビ欄を利用して正しい周波数を手動で設定する	45

お願い

表示や動作が異常になったときは、本体の電源スイッチを「切」に合わせて一度電源を切ってから本体の電源スイッチを「入」に合わせて電源を入れ直してください。
または、電源を切って電源アダプターを抜き、数秒後もう一度差し込んで操作し直してください。
（落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。）

用語解説

DTS
Digital Theater Systemsの略です。DTSは5.1chのフォーマットですが、ドルビーデジタル5.1chと異なり音声圧縮率が低いため音に厚みがあり、S/N感が非常に良いサラウンドシステムの一つです。

JPEG
JPEGとは、写真などの画像ファイルを圧縮して保存する形式（画像フォーマット）のひとつで、ITU-TS（国際電気通信連合：旧CCITT）とISO（国際標準化機構）で定められたフォーマットです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子が付きます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号で、ピリオドと３文字のアルファベットで構成されています。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

MP3
MP3とは、MPEG1、MPEG2、MPEG2.5オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは、映像圧縮および音声圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式で映像を圧縮記録しています。

マルチ音声
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声が記録されているものがあります。DVDでは音声を最大８種類まで記録することができ、その中からお好きな音声を選んで楽しむことができます。

マルチ字幕（サブタイトル）
映画などでおなじみの字幕です。DVDでは字幕を最大32種類まで記録することができ、その中からお好きな字幕を選んで楽しむことができます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などは、テレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラ位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは、数台のカメラで同時に撮影し、その中の一つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですが、すべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。

視聴年齢制限
DVDディスクの中には、視聴者の年齢に合わせてディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのようなディスクを再生するときの規制レベルを本機で設定することができます。

チャプター
ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーのことで、本の「章」番号に相当します。本機では、このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

リージョンコード（地域コード）
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号（リージョンコード）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。
本機のリージョン番号は「2」で、本体背面部に表示されています。

リニアPCM(LPCM)
Liner Pulse Code Modulationの略で音声の圧縮をおこなわないデジタル音声のことをいいます。

レターボックス
4:3のテレビと本機を接続し、ワイド（16:9）ソフトを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

仕様

DVL-7TV

本体部	
電源	AC 100V ～ 240V　50/60 Hz (コード長約 1.8m)
消費電力	13W （本体電源切時　電源アダプター接続時：1.8W）
質量	1.1 kg
外形寸法	268（幅）×176 (高さ）× 96（奥行）mm
スピーカー	30 × 40mm　楕円形（8 Ω）× 2
音声実用最大出力	0.5W ＋ 0.5W
FM 受信周波数	76 ～ 90MHz
使用環境	温度：5℃～ 35℃、動作姿勢：水平　時計：月差 60 秒以内

端子部	
DC 入力	DC 12V　1.5A
TV アンテナ	75 Ω同軸
FM アンテナ	ピッグテール　ソケットタイプ
ヘッドホン	適合インピーダンス 32 Ω
デジタル出力	同軸デジタル音声出力端子× 1：0.5V_{P-P}/75 Ω
映像・音声入力	映像入力：1V_{P-P}/75 Ω、音声入力：1.4V RMS

DVD/CDプレーヤー部	
再生信号方式	NTSC カラーテレビジョン方式
使用レーザー	半導体レーザー
音声周波数特性	DVD：4 Hz ～ 22 kHz、CD：4Hz ～ 20kHz
信号対雑音比（S/N 比）	60 dB 以上(JEITA)
全高調波ひずみ率	0.01%
ワウ・フラッタ	測定限界以下(JEITA)

液晶テレビ部	
液晶タイプ	7V 型
画面サイズ	154（幅）× 87（高さ）× 177（対角）mm
表示方式	透過型 TFT カラー液晶パネル
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
画素数	336,960（横 480 ×縦 234 × 3）（有効画素率 99.99%以上）
使用光源	内部光（蛍光管内蔵）
受信チャンネル	VHF：1ch ～ 12ch、UHF：13ch ～ 62ch、 CATV：C13ch ～ C63ch
アンテナ	75 Ω　不平衡

付属品

リモコン（リチウム電池 CR2025 付属）...	1	FM 室内アンテナ（約 2 m）.................	1
電源アダプター（約 1.8 m）................	1	アンテナプラグ	1
専用 AV コード（約 0.2 m）................	1	保証書	1
取扱説明書	1		

- 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送形式、電源電圧などが異なりますので使用できません。
  This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

⚠ 警告

- 付属の電源アダプターは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 付属の電源アダプター以外は使用しないでください。火災や感電の原因となります。

■ 地上デジタルテレビ放送への対応について

2011年7月までに地上アナログテレビ放送は終了し地上デジタルテレビ放送に完全に移行することが国の法令によって定められています。
本機で地上デジタルテレビ放送をご覧頂くには、地上デジタルテレビ放送用デジタルチューナーを接続する方法(注1)とケーブルテレビで試聴する方法(注2)があります。
(注1) 地上デジタルテレビ放送に対応したアンテナ等が必要です。
(注2) サービス形態や受信方法等についてはケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

■ アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

ご相談窓口（家庭電器製品の表示に関する公正競争規約により表示）

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87
（受付時間）365日／9:00〜19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739
（受付時間）9:00〜17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間…お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

DVDプレーヤー内蔵液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（持込修理）

57～60ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	DVDプレーヤー内蔵液晶テレビ
形　　名	（DVDプレーヤー内蔵液晶テレビ） DVL-7TV （リモコン） DVL-RM1S
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日

長年ご使用のDVDプレーヤー内蔵液晶テレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検

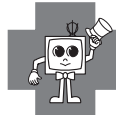
このような症状はありませんか

- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●映像が連続してチラついたりユレたりする。
- ●ジージー・パチパチと異常な音がする。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

➡

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした
心づかいで
テレビの安全

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03(3260)9611

（JP1）